

暮らしづくり

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 ( 決算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	1 暮らしを支える拠点地区の充実
施策の将来の目標像	各拠点地区の役割に応じた機能が適正に配置され、様々な機能が集積される都市拠点を中心として、拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	居住誘導区域内の人口密度	西条・八本松・志和・高屋 50.1人/ha、黒瀬 48.7人/ha、河内 16.2人/ha、安芸津 23.3人/ha*住民基本台帳	西条・八本松・志和・高屋 52.0人/ha、黒瀬 現状維持、河内 現状維持、安芸津 現状維持*住民基本台帳
	空き家バンク登録件数	23件 *累計実績値	150件 *累計実績値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 良好な市街地形成の推進	主管部局・所属	都市部 都市計画課
関係部局・所属	都市部 都市整備課	都市部	区画整理課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	都市の成長が持続され、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、各拠点地区の特性に応じて都市機能を集積するとともに、安全・安心な都市環境の形成により、良好な市街地の形成を図る。	現状	狭隘な道路や無秩序な開発など、安全・安心な都市環境が形成されていない。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
無秩序な宅地化が進展している		拠点地区周辺の市街地整備の取組み	高	1
市街地の防災・減災機能を向上させるインフラの整備が不十分		JR駅周辺のまちづくり	中	2
市街地において必要な生活機能の集約が図られていない		まちづくりに関する総合的な計画策定	低	3
安全・安心な憩いの場が不足している		安全・安心な憩いの場となる公園づくり	低	4

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 市街地整備事業区域内人口 (西条第二地区内の人口)	8,259 ( H30 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	9,106	9,561	10,039	11,000 ( R6 )	人
			100.0%	98.8%		85.9%	
(1) 各拠点地区周辺の人口 (合計)	36,696 ( H30 )		37,806	38,373	38,948	43,870 ( R12 )	人
			38,439	39,220		89.4%	
			101.7%	102.2%			
(4)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	2年度	985,168	604,987	956,078	534,315	84,933千円
	R3年度	1,394,208	267,344	969,359	109,845	

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	8・5・5 西条第二地区地区計画整備事業	都市整備課	1.15	7,744	60,945
				132,060	33,351
2-1	1・1・1 八本松駅前土地区画整理事業【特会】	区画整理課	5.16	199,540	569,950
				142,425	502,135
2-2	8・5・3 八本松駅前土地区画整理関連公共事業	区画整理課	3.13	190,989	471,332
				7,260	288,360
3-1	8・5・1 都市計画推進事業	都市計画課	2.59	47,503	81,981
				41,769	20,293
4-1	8・5・4 公園整備事業	都市整備課	1.43	539,392	210,000
				632,564	125,220
合計			13.46	985,168	1,394,208
				956,078	969,359

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析
424,849千円	新型コロナウイルス感染拡大の影響などで、事業費を繰越したことによる。

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
100.5%	JR駅周辺を中心として、道路整備や民間開発等の進展により、概ね目標を達成することができた。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	良好な市街地を形成するために、JR八本松駅周辺地区における市街地整備や、西条第二地区における地区計画道路整備など、計画的なまちづくりを進めており、概ね適切であった。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	各種取組について、必要に応じて民間事業者へ業務委託をしており、概ね経済的・効率的であった。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業説明会の延期や交渉の遅れ等が生じた。

10 総合評価

総合評価	<総評>
A	各種事業について、事業費の繰越が生じているものの、概ね計画どおりに進めることができおり、人口増加など一定の成果が出ている。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
都市機能等がコンパクトに集約されたまちづくりや、安全・安心に暮らせる良好な都市環境の形成が求められている。	引き続き、道路・下水道等の都市基盤整備と合わせた、良好な市街地の形成を図るとともに、防災・減災に向けたまちづくりを進めていく。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	1 暮らしを支える拠点地区の充実	① 良好な市街地形成の推進

事業の概要			
戦略	1 拠点地区周辺の市街地整備の 取組み	予算 60,945 千円	決算 33,351 千円
事務事業	1-1 西条第二地区地区計画整備事業	予算 60,945 千円	決算 33,351 千円
内容			

1-1\_西条第二地区地区計画の整備

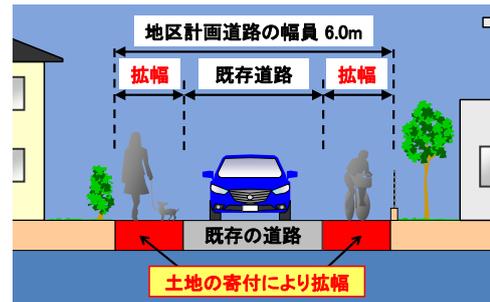
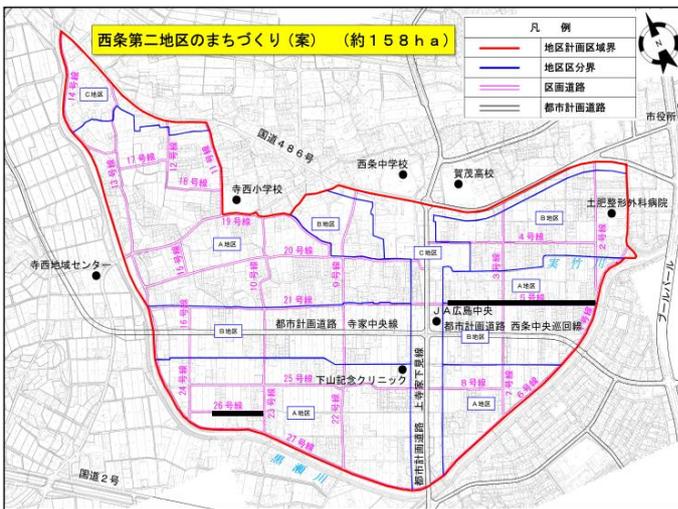
西条中心部に近接し、開発圧力の高い西条第二地区における良好な都市環境を形成するため、西条第二地区（約 157.9ha）内の地区計画道路を拡幅し、良好な交通環境の整備を行った。

【成果・課題】

地区計画道路 26 号線の整備及び移転補償を進めた。また、地区計画道路 5 号線において測量設計を進めた。

課題としては、関係部局及び民間開発等との調整を図りながら事業を進める必要がある。

■ 事業概要



■ 整備状況



## 事業の概要

戦略	2	J R 駅周辺のまちづくり	予算 1,041,282 千円	決算 790,495 千円
事務事業	2-1	八本松駅前土地区画整理事業	予算 569,950 千円	決算 502,135 千円

### 内容

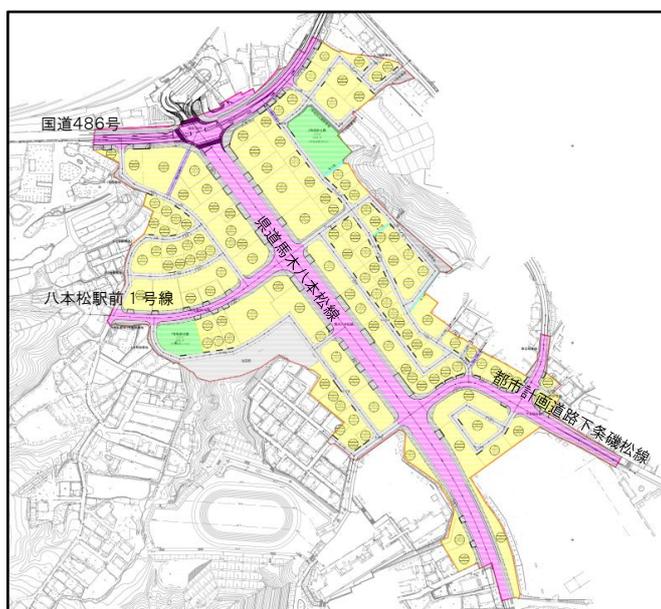
#### 2-1\_八本松駅前土地区画整理の推進

八本松駅周辺の狭隘な幹線道路、生活道路や、住環境を一体的に整備し、良好な都市空間を形成するため、土地区画整理事業による市街地整備を行った。

#### 【成果・課題】

本格的な造成工事に先立ち、順調に家屋補償契約を締結した。  
 なお、新型コロナウイルスまん延防止のため、一部、地権者の契約交渉に遅れが生じたことから、年度内に移転撤去が完了しなかった家屋もあったが、全体の事業進捗に影響はない。

#### ■ 事業概要



施行面積	10.6ha
総事業費	7,512 百万円
平均減歩率	34.67%
保留地面積	3,647.26m <sup>2</sup>

#### ■ 家屋補償状況



事業の概要				
戦略	2	J R 駅周辺のまちづくり	予算 1,041,282 千円	決算 790,495 千円
事務事業	2-2	八本松駅前土地区画整理関連公 共事業	予算 471,332 千円	決算 288,360 千円

**内容**

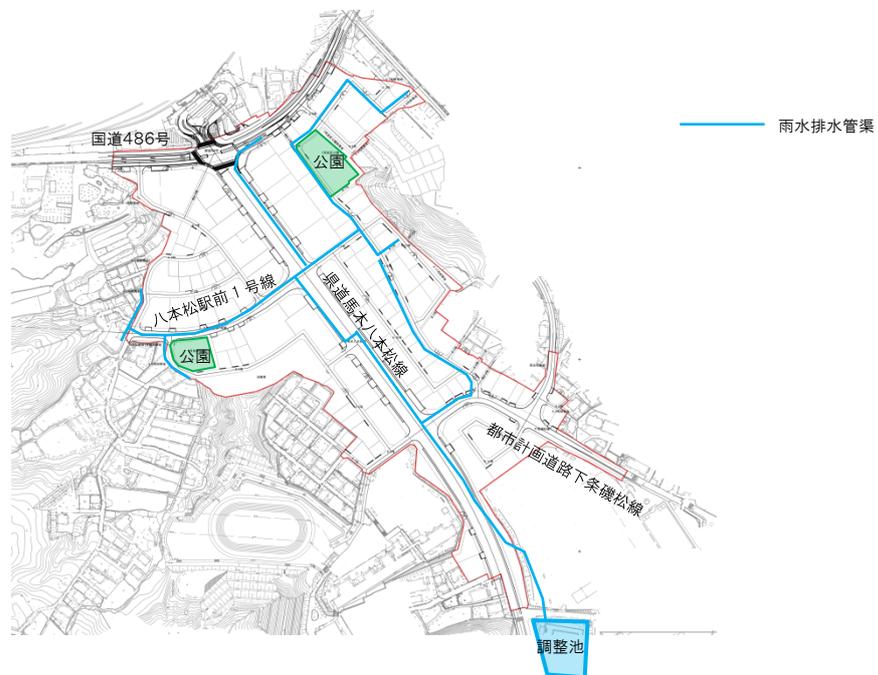
**2-2\_八本松駅前土地区画整理に関連する公共施設の整備**

土地区画整理事業と関連し、地区内の雨水排水施設や公園等を整備することで、良好な住環境の形成を図った。

**【成果・課題】**

本格的な造成工事に先立ち、一部雨水排水管渠も整備し、調整池整備工事に着手した。なお、道路管理者との協議及び地下埋設物位置の相違などにより不測の日数を要したため、工期短縮が課題である。

**■ 事業概要**



**■ 整備状況**



事業の概要				
戦略	3	まちづくりに関する総合的な計画策定	予算 81,981 千円	決算 20,293 千円
事務事業	3-1	都市計画推進事業	予算 81,981 千円	決算 20,293 千円

**内容**

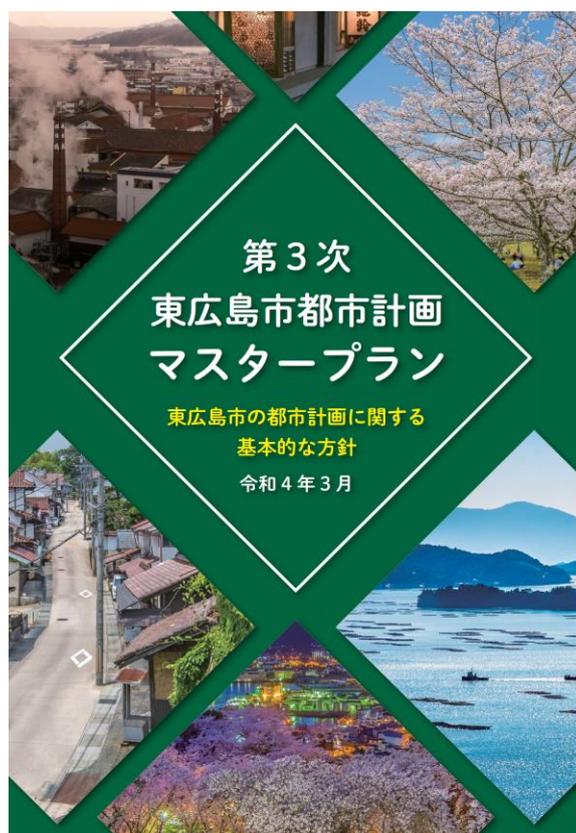
3-1\_まちづくりに関する計画策定や都市計画事業等の取組み  
 東広島市における今後の都市づくり等の基本的な方針（土地利用、道路、公園など）となる都市計画マスタープランを策定した。

**【成果・課題】**

市内9町におけるワークショップの開催や、パブリックコメントの実施により、市民の方々の意見を参考としながら、第3次東広島市都市計画マスタープランを策定した。

引き続き、道路・下水道などの都市基盤整備と合わせた、良好な市街地の形成を図るため、計画的にまちづくりを進めるとともに、災害に強い「安全・安心なまちづくり」に取り組む必要がある。

■第3次東広島市都市計画マスタープラン



事業の概要			
戦略	4	安全・安心な憩いの場となる公園づくり	予算 210,000 千円 決算 125,220 千円
事務事業	4-1	公園整備事業	予算 210,000 千円 決算 125,220 千円

内容

4-1\_都市公園等の整備

安全で快適な公園づくりを行うことで良好な都市環境の形成を図った。

①東広島運動公園の整備 (104,370 千円)

心の潤いや安らぎを与える休養・休息の場、スポーツやレクリエーション活動により健康で健全な育成の場として、また災害時における避難場所としての効果や機能を有する東広島運動公園の整備を行った。

- ・令和3年度工事箇所：グラウンド・ゴルフ場

【成果・課題】

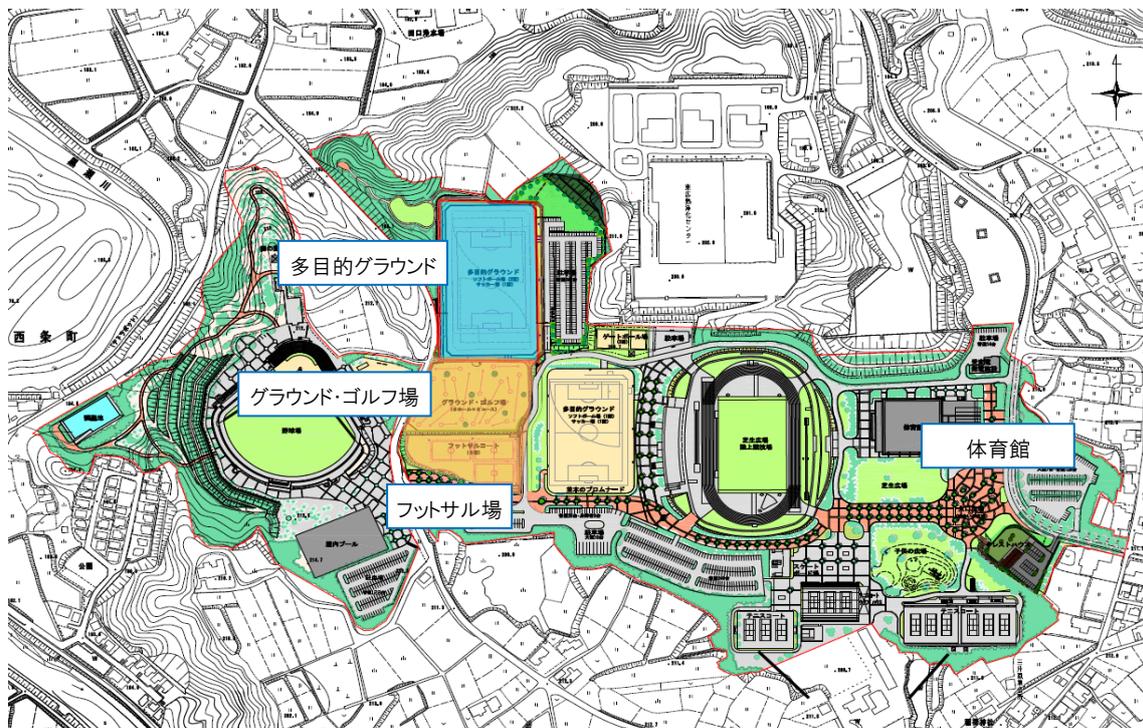
計画の見直しによりグラウンド・ゴルフ場の早期供用開始が見込める。

②公園長寿命化計画の策定と運動公園の健全度調査 (20,850 千円)

当初の公園長寿命化計画策定から数年が経過したため、計画の更新に着手した。

また、東広島運動公園体育館においては健全度及び現況調査に着手した。

■事業概要図





令和 3 年度 目的別事業群総括管理 ( 決算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	1 暮らしを支える拠点地区の充実
施策の将来の目標像	各拠点地区の役割に応じた機能が適正に配置され、様々な機能が集積される都市拠点を中心として、拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値	目標値
	居住誘導区域内の人口密度	西条・八本松・志和・高屋 50.1人/ha, 黒瀬 48.7人/ha,河内 16.2人/ha, 安芸津 23.3人/ha*住民基本台帳	西条・八本松・志和・高屋 52.0人/ha, 黒瀬 現状維持,河内 現状維持, 安芸津 現状維持*住民基本台帳
	空き家バンク登録件数	23件 *累計実績値	150件 *累計実績値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 住環境の整備・保全	主管部局・所属	都市部 住宅課
関係部局・所属	都市部 開発指導課	地域振興部	地域づくり推進課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	安全・安心に暮らせる良好な住環境の形成	現状	市内3,760件の空き家のうち、563件が老朽空き家となっている。市営住宅975戸のうち、378戸が耐用年数を超えている。		
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.	
老朽化していく市営住宅を適切に維持管理していく必要がある。	適正な市営住宅ストックの実現		中	1	
管理不全空家の増加は、安全性・公衆衛生・景観の悪化等、生活環境に影響を及ぼす可能性がある。	安全安心な住環境の実現		中	2	

4 成果指標

成果指標		初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7)	空き家バンク登録件数の増加	14 ( H29 )	70	90	110	150 ( R6 )	件
			100	121			
			142.9%	134.4%			
(4)		( )			( )		
(5)		( )			( )		

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	2	91,311		70,071		
		57,268		43,425		
	3	240,805		184,982		25,556千円
		53,962		112,156		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	8・6・2 市営住宅建設事業	住宅課	0.50	70,746	206,218
				57,721	153,661
2-1	8・6・1 住宅指導事務	住宅課	1.00	4,217	4,343
				849	466
2-2	8・6・1 空き家対策事業	住宅課	2.55	16,348	30,244
				11,501	30,855
合計			4.05	91,311 70,071	240,805 184,982

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析
55,823千円	市営住宅改修工事における入札残額及び入札不調による発注スケジュールの遅れにより、老朽市営住宅の解体工事を繰越したため。

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
134.4%	登録件数は前年度より減少したが、市内全戸への啓発用チラシの送付や、空き家所有者に対する制度案内のダイレクトメールの送付等により、空き家バンク制度の周知を行い、登録の目標件数は達成できた。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	空き家バンクの利用登録者数は年々増加傾向にあり、空き家取得のニーズは高くなっている。しかし、空き家バンク登録件数は昨年度より減少しており、空き家取得のニーズに応えられるように更なる取り組みが必要。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	R3年度から、老朽空き家の解体補助金の限度額を増額したところ、申請件数は倍増した。空き家に関する啓発活動については、啓発文を納税通知書に同封して送付する等、効率的・経済的な取り組みを行った。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	空き家所有者に対しては、空き家バンクの案内文を送付する等、啓発活動は継続して行っているが、空き家バンク登録については、空き家所有者それぞれの事情に左右される。

10 総合評価

総合評価	＜総評＞
B	R3年度の空き家バンク登録件数は減少したが、空き家所有者に対しては、空き家バンクや補助制度等について、これまでの啓発活動により、概ね周知は図れたと考えている。利用者登録件数は増加傾向にあり、バンク登録件数が増加すれば、成約件数の増加に繋がる可能性は高い。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
空き家バンクの成約件数は横ばいであるが、登録件数が減少しており、バンク登録件数・成約件数の増加に向けた新たな取り組みが必要。	→ 今年度実施する空家等対策計画の見直しにおいて、バンク登録件数・成約件数の増加に繋がる新たな補助制度を検討するとともに、引き続き空き家制度の周知活動を行う。

## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	1 暮らしを支える拠点地区の充実	② 住環境の整備・保全

事業の概要			
戦略	1 適正な市営住宅ストックの実現	予算 206,218 千円	決算 153,661 千円
事務事業	1-1 市営住宅建設事業	予算 206,218 千円	決算 153,661 千円

### 内容

#### 1-1\_市営住宅の建設等

長寿命化計画に基づき住宅改善・長寿命化工事等を実施した。

##### ①市営住宅の予防保全（136,516 千円）[社会資本整備総合交付金]

- ・長寿命化改修工事のための設計を実施した。（市営磯松住宅 40 戸）
- ・長寿命化改修工事を実施した。（市営寺山住宅 12 戸、市営新向原住宅 36 戸）

#### 【成果・課題】

市営磯松住宅の外壁・屋上防水改修等の設計及び市営寺山住宅と市営新向原住宅の外壁・屋上防水改修等を実施した。

課題としては、今後も継続的に他の市営住宅の改修工事を進めていく必要があるため、工事の平準化を考慮するとともに、効果的・効率的な改修計画を検討する必要がある。



(改修前)

<市営寺山住宅>



(改修後)



(改修前)

<市営新向原住宅>



(改修後)

## 事業の概要

### ②環境悪化の抑制や防犯・防火等の向上（0千円）

老朽化した市営住宅の解体費等を繰越した。（2団地：5棟8戸）

#### 解体計画（R4繰越）

住宅名	築年度	場所	解体戸数
市営造賀住宅	S37年	高屋町造賀	1棟（2戸）
市営土与丸住宅	S33年・S41年	西条町土与丸	4棟（6戸）

#### 【成果・課題】

入札不調により発注スケジュールを遅らせたことから、年度内工期が確保できず、繰越となった。

### 【新】③市営住宅ストック総合活用計画・長寿命化計画の見直し（6,620千円）

#### 〔社会資本整備総合交付金〕

市営住宅の計画的・予防保全的な活用及び維持管理ストック総合活用計画・長寿命化計画の見直しを外部委託により行った。

#### 【成果・課題】

市営住宅のストック計画の見直しと、全市営住宅の現地確認を行い、今後10年間の改修計画を策定した。

課題としては、社会情勢や地域の実情の変化、市営住宅の劣化の進行状況により、必要に応じて改修計画スケジュール等の見直しが必要。

事業の概要						
戦略	2	安全安心な住環境の実現	予算	34,587 千円	決算	31,321 千円
事務事業	2-1	住宅指導事務	予算	4,343 千円	決算	466 千円
内容						
2-1_良好な住環境確保に向けた支援						
①安全・安心で、良好な住環境の確保（384 千円）						
ア 補助金の助成により民間木造住宅の安全性を向上させた。						
[社会資本整備総合交付金]						
・耐震診断費用の一部助成（実績数 2 件、自己負担金 1 万円）						
イ 広島県居住支援協議会や「ひろしま住まいづくり支援ネットワーク」に参加し、住宅に関する情報をホームページ等を活用し発信した。						
【成果・課題】						
<p>申込のあった 2 件の民間木造住宅の耐震診断を実施した。</p> <p>課題としては、申請件数が少なく、また、耐震診断により耐震性がないと判定された建物であっても、耐震改修の実施に至らない場合が多いため、耐震診断・耐震改修の増加に繋がる新たな取り組みについて検討が必要。</p>						

事業の概要						
戦略	2	安全安心な住環境の実現	予算	34,587 千円	決算	31,321 千円
事務事業	2-2	空き家対策事業	予算	30,244 千円	決算	30,855 千円

### 内容

#### 2-2\_空き家対策の推進

空き家の増加を抑制し、管理不全の空き家を減少させるため、空き家の状態に応じ、総合的な空き家対策を推進した。

空き家数	3,760軒	(平成28年度調査)
空き家バンク登録数	121件	(令和4年3月末時)

#### ①空き家の利活用の推進 (12,040 千円)

補助金の助成により空き家の利用活用を推進した。

- ・相続登記に係る費用の助成 (実績数 8 件、補助率 1/3 又は上限 10 万円)
- ・改修費用の助成 (実績数 8 件、補助率 1/3 又は上限 50 万円)
- ・空き家に残った家財道具の処分費の助成 (実績数 13 件、補助金額 10 万円 最大 15 万円まで)

- 【拡】
- ・地域活性化に寄与する空き家利活用のための取得・改修費用の助成 (実績数 2 件、国庫補助、補助率 2/3 又は上限 300 万円)
  - ・補助制度や空き家の利活用を促進するため、FMラジオ等のメディアの活用や定住サポートセンターとの連携により広く情報発信した。

#### 【成果・課題】

利活用に関する補助については、概ね前年度以上の申請実績となった。  
課題としては、空き家バンクの年間登録件数が減少し、成約件数は横ばいとなっているため、バンク登録から成約件数の増加に繋がる新たな制度を検討する必要がある。



改修前



改修後



改修後

< 空家対策事業費補助金を活用した改修実績① >



改修前



改修後



改修後

< 空家対策事業費補助金を活用した改修実績② >

事業の概要

②空き家の発生抑制、適正管理、除却・跡地活用等の推進（8,734 千円）

ア 補助金の助成により空き家の除却・跡地活用を推進した。

- ・老朽空家の解体費用の助成（実績数 19 件、補助率 1/3 又は上限 50 万円）

イ 啓発用チラシ送付等を行い、空き家の適正管理、除却等を促進した。

- ・納税義務者に送付する納税通知書に、「啓発用チラシ」を同封し送付した。

【成果・課題】

解体補助金の限度額を増額したことから、前年度以上の申請実績となった。

課題としては、管理不全の空き家は、老朽化の進行が顕著であるため、危険な状態になる前に適切な管理や除却を誘導していく必要がある。

【新】③空き家実態調査（9,946 千円）[空き家対策総合支援事業国庫補助金]

平成 28 年に行った空き家実態調査からの推移・変動について、外部委託により調査した。

(R3 空き家実態調査結果)

地 域	R28 年度調査	R3 年調査	減少数	増加数	増減数
西 条	635 件	668 件	75 件	108 件	33 件
八本松	382 件	354 件	92 件	64 件	-28 件
志 和	344 件	361 件	18 件	35 件	17 件
高 屋	305 件	314 件	31 件	40 件	9 件
黒 瀬	690 件	691 件	50 件	51 件	1 件
福 富	106 件	179 件	6 件	79 件	73 件
豊 栄	331 件	378 件	19 件	66 件	47 件
河 内	367 件	398 件	35 件	66 件	31 件
安芸津	600 件	604 件	109 件	113 件	4 件
総 計	3,760 件	3,947 件	435 件	622 件	187 件

【成果・課題】

空家等対策計画改定の基礎データとなる地域別の空き家増減数及び新たに発生した空き家の老朽度が把握できた。

課題としては、適宜データを更新していくためには、その都度最新の空き家の発生状況・改善状況を把握する必要があるため、効率的な空き家情報の入手方法について検討が必要。



令和 3 年度 目的別事業群総括管理 ( 決算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	2 安全で円滑な生活交通の充実
施策の将来の目標像	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域公共交通体系が確立されているとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	公共交通空白地域外の人口比率	82.7%	85.0%
	市道の整備率	57.8%	58.5%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 生活交通ネットワークの充実	主管部局・所属	地域振興部 地域政策課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域公共交通体系が確立されている	現状	地域公共交通に対する満足度が低迷している	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	地域公共交通が導入されているが利用率が低迷 地域公共交通が導入されていない空白地が存在	地域運行主体を明確にした 持続可能な移動手段の導入・維持・転換	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 地域公共交通の展開数	4 ( H30 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	6	6	7	7 ( R6 )	地域
(1)	( )		5	5		( )	
(4)	( )		83.3%	83.3%		71.4%	
						( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
2年度		53,949		45,381		5,364千円
		25,111		21,416		
3年度		65,191		55,699		
		38,793		32,699		



概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	2 安全で円滑な生活交通の充実	① 生活交通ネットワークの充実

事業の概要			
戦略	1 地域運行主体を明確にした持続可能な移動手段の導入・維持・転換	予算 65,191 千円	決算 55,699 千円
事務事業	1-1 地域公共交通対策事業	予算 65,191 千円	決算 55,699 千円

内容

1-1\_地域公共交通の取組み

① コミュニティバスの運行 (49,581 千円)

公共交通空白地域の解消及び市民の移動手段の確保を図るため、黒瀬、豊栄、河内、安芸津地区でコミュニティバスを運行したことにより、市民の移動手段を確保・維持することができた。

ア 豊栄そよかぜ号、海風バス、あゆピチふれあい号運行委託

名称	運行開始日	運行概要
豊栄そよかぜ号	H21. 2. 1	5 路線 23 系統、週 2 日、1 日 4~8 便
【拡】海風バス	H21. 4. 1	3 路線 8 系統、週 2・4 日、1 日 4 便
あゆピチふれあい号	H22. 11. 1	1 路線 5 系統、週 2 日 (一部月~金)、1 日 4~7 便

・ R 3 年度 年間乗客数 : 8,312 人 (前年度 6,397 人)

【成果・課題】

海風バスにおいて一部路線で運行日数を増やしたことや新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きにより、前年度と比べ利用者数は増加したものの、コロナ禍以前の利用状況には戻っていない。

課題としては、地域が主体となった利用促進等の取組及び体制づくりができていない。

イ 黒瀬さくらバスの運行支援

地域が運行主体である黒瀬さくらバスの支援を行い、市民の移動手段を確保・維持することができた。

名称	運行開始日	運行主体	運行概要
黒瀬さくらバス	H26. 6. 23	黒瀬さくらバス 運行協議会	6 路線 6 系統、週 1~2 日、1 日 4 便

・ R 3 年度 年間乗客数 : 5,132 人 (対前年度 5,259 人)

【成果・課題】

新型コロナウイルス感染症の影響が継続したことにより利用者数は減少したが、地域主体による利用促進が図られたことで、減少幅は小さいものとなった。

## 事業の概要

### ②地域特性に応じた移動手段の導入（4,079千円）

地域が運行主体、運送事業者をタクシー事業者としたデマンド交通の支援を行った。

名称	運行開始日	運行主体	運行概要
入野デマンド	R1.11.11	入野自治組織 篁の郷	3地区、週3日、 1日4～6便

・R3年度 年間乗客数：1,351人（前年度1,513人）

#### 【成果・課題】

新型コロナウイルス感染症の影響が継続したことにより利用者数は減少したが、地域主体による利用促進が図られたことで、減少幅は小さいものとなった。

### 【拡】③モビリティ・マネジメント（公共交通利用促進に向けた取組み）の推進

(2,039千円)

公共交通の利便性向上、利用促進を図るため、協力店舗の情報をホームページに集約するとともに、リーフレット増刷、沿線住居への配布、並びに転入者への周知のために不動産店舗へ配布した。

また、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づく市地域公共交通会議の運営事務を行った。

#### モビリティ・マネジメント

過度な自動車利用から、公共交通・自転車を適切に利用する方向に自発的な変化を促す、コミュニケーションを中心とした交通施策。

#### ア 情報技術（ICカード、QRコード）を活用した公共交通利用促進

協力店舗情報をホームページ上に集約し、QRコードでアクセスできるように更新した。

広島県交通系 IC カード「PASPY」が事業終了する予定であることから、今年度の IC カード活用による利用促進は見送った。

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 ( 決算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	2 安全で円滑な生活交通の充実
施策の将来の目標像	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域公共交通体系が確立されているとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	公共交通空白地域外の人口比率	82.7%	85.0%
	市道の整備率	57.8%	58.5%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 市道、街路、国県道の整備・保全	主管部局・所属	建設部 道路建設課
関係部局・所属	建設部	維持課	建設部 建設管理課
	都市部	都市計画課	都市部 都市整備課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	地域の実情に合わせた道路交通網の構築や、道路構造物の定期的な点検に基づく予防保全により、交通の利便性及び安全性の向上を図る。	現状	生活に身近な道路交通網の構築が求められており、また、道路環境が十分に整っていない箇所がある。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
老朽化していく道路等を適正に維持管理していく必要がある。	橋梁等道路施設の長寿命化		高	1
市街地内の良好な道路の骨格が十分でない。	都市計画道路の整備促進		高	2
老朽化していく道路等を適正に維持管理していく必要がある。	市道、その他市管理道路及び県道移譲路線の維持修繕		中	3
国、県道を補完する道路網の構築が十分でない。安心・安全な自転車通行空間が十分に確保されていない。	都市計画道路以外の幹線市道の整備(自転車通行空間の確保)		中	4
地域生活に必要な国、県道の整備が十分でない。	県が整備する道路事業の促進		低	5
安全性や利便性を確保する生活に身近な道路が十分に確保されていない。	生活道路における緊急自動車等の安全な通行空間の整備		低	6

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 道路橋の補修数	0 ( R2 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	0	35	30	131 ( R8 )	橋
			0	19		14.5%	
				54.3%			
(4) 市道(街路、幹線道路、生活道路)の整備率	0 ( H30 )		2	21	46	100 ( R6 )	%
			2	6		6.0%	
			100.0%	28.6%			
(5)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	
R2年度		2,249,404		2,254,768		
		1,129,233		1,168,423		
R3年度		3,622,684		3,299,122		151,125千円
		1,597,895		1,515,165		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	8・2・2 橋梁長期保全事業	維持課	4.20	169,894	334,887
				188,951	577,216
2-1	8・5・2 街路整備事業	都市整備課	2.40	925,598	1,205,390
				899,337	951,096
3-1	8・2・2 道路維持修繕事業	維持課	8.44	827,153	1,223,898
				917,720	1,158,905
3-2	8・2・2 県道維持事業	維持課	1.19	171,582	172,361
				170,786	163,206
4-1	8・2・3 幹線市道整備事業	道路建設課	4.09	126,907	390,652
				54,113	308,096
5-1	8・5・1 国・県道路整備事業	都市計画課	1.00	14,000	14,000
				10,846	6,797
5-2	8・2・3 県道整備事業	道路建設課	0.38	0	19,904
				0	19,314
6-1	8・2・3 生活市道整備事業	道路建設課	2.25	14,270	261,592
				13,015	114,492
合計			23.95	2,249,404	3,622,684
				2,254,768	3,299,122

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	323,562千円	分析	橋梁長期保全事業、道路整備事業について、入札不調等に伴う繰越が生じたことや、橋梁長期保全事業について早期措置が必要となる橋梁の修繕工事を令和2年度の補正予算(繰越)により実施したこと等による。
----	-----------	----	--

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	41.4%	分析	当初計画どおり発注を行ったが、入札不調や関係機関協議等による不測の日数が生じたこと等から遅れが生じたため、達成率が低くなっている。
-------	-------	----	---

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	交通の利便性及び安全性の向上を目的とし、地域の実情に応じた道路交通網の構築や道路構造物の定期的な点検に基づく予防保全に取り組むことで目的を達成している。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	・老朽化橋梁の急速な増大に対応するため、点検結果に基づく早期補修を計画的に行う予防保全での補修・更新に取り組むことで、費用の縮減と準化を図っている。 ・社会資本インフラメンテナンスサイクルに係る費用が急激に増大することを考慮し、より経済的・効率的な取り組み方法を検討する必要がある。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	災害復旧工事を優先的に実施するため、道路整備事業の実施を抑制していることや、実施を予定していた工事の入札不調により、事業進捗が遅れが生じた。

10 総合評価

総合評価	B	<総評>
		成果指標の達成率は低い結果となったが、災害復旧工事を優先しつつ、橋梁補修、道路の整備、並びに道路の維持修繕を限られた人員で効率的に行うことで、交通の利便性及び安全性の向上を推進した。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
・橋梁の長寿命化や舗装の更新について、老朽化施設の急速な増大に対応する必要があるため、国庫補助金や起債の増額確保並びに適正な維持管理体制の構築及び効率的な施工方法を検討する必要がある。 ・社会資本インフラのメンテナンスサイクルに係る費用が急激に増大する中で、今後より一層の選択と集中による道路整備が必要となっている。	・老朽化が進む道路施設の修繕を早期に終えることを目標に、引き続き、適正な維持管理体制の構築、小規模補修の一括発注及び新技術の活用等により、老朽化施設の健全化を加速する。 ・道路の整備・維持管理については、限られた予算の中で、適切な維持管理と社会資本ストックの有効活用を図りつつ、道路ネットワークの形成による多重性・代替性の強化や渋滞解消による物流生産性の向上、通学路や生活道路等の交通安全対策による安全な道路空間の形成などについて、より効率的・効果的に行っていく。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	2 安全で円滑な生活交通の充実	② 市道、街路、国県道の整備・保全

事業の概要			
戦略	1 橋梁等道路施設の長寿命化	予算 334,887 千円	決算 577,216 千円
事務事業	1-1 橋梁長期保全事業	予算 334,887 千円	決算 577,216 千円

内容

1-1\_道路橋などの長期保全

橋梁の長寿命化を図るため、次の事業を実施した。

- ① 道路橋の定期点検 (103,535 千円)
  - ア 山陽自動車道跨道橋点検(ネクスコ西日本委託) 10 橋
  - イ JR跨線橋点検(JR西日本委託) 3 橋
  - ウ 一般橋梁点検 279 橋
- ② 道路橋補修設計 (39,756 千円)
  - ア 補修設計 17 橋
- ③ 道路橋補修 (433,303 千円)
  - ア 御建跨線橋補修工事委託(JR西日本委託) 1 橋
  - イ 中村橋ほか 14 橋補修工事 15 橋
  - ウ 小規模橋梁補修業務委託 4 橋
- ④ その他経費 (622 千円)

【成果と課題】

292 橋の橋梁点検、17 橋の補修設計、20 橋の橋梁補修を実施したが、入札不調等の影響により、年度内完了できない案件が数件発生した。

事業の概要			
戦略	2 都市計画道路の整備促進	予算 1,205,390 千円	決算 951,096 千円
事務事業	2-1 街路整備事業	予算 1,205,390 千円	決算 951,096 千円
内容			
<p>2-1_都市計画道路の整備</p> <p>都市の骨格となる道路ネットワークの形成に向けた都市計画道路の整備を次のとおり実施した。</p> <p>①西条中央巡回線(寺家工区)[事業延長 590m、幅員 17m] (181,654 千円) 道路改良工事、用地取得、物件移転補償</p> <p>②吉行泉線(2 工区)[事業延長 460m、幅員 14m] (397,994 千円) 用地取得、物件移転補償、埋蔵文化財調査</p> <p>③丸山榎原線(1 工区、2 工区)[事業延長 800m、幅員 16m] (104,921 千円) 道路改良工事、用地取得、物件移転補償</p> <p>④寺家中央線(1 工区)[事業延長 580m、幅員 17m] (240,243 千円) 用地取得、物件移転補償、補償調査</p> <p>⑤中島線[事業延長 354m、幅員 9.25m] (26,284 千円) 道路改良工事</p> <p><b>【成果と課題】</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>計 5 路線について、道路改良工事等を実施し、事業の進捗を図った。 早期に事業効果を発現させるための工夫を図りながら、事業を進めていく必要がある。</p> </div>			

事業の概要						
戦略	3	市道、その他管理道路及び県道 移譲路線の維持修繕	予算	1,396,259 千円	決算	1,322,111 千円
事務事業	3-1	道路維持修繕事業	予算	1,223,898 千円	決算	1,158,905 千円
内容						
<p>3-1_市道、その他市管理道路の維持修繕</p> <p>道路を常時良好な状態に保つよう維持し、一般交通に支障を及ぼさないよう次の事業を実施した。</p> <p>①道路の維持修繕</p> <p>ア 年間委託による維持修繕 (596,710 千円)</p> <p>イ 工事発注による維持修繕 (23,546 千円)</p> <p>ウ 委託による測量設計等 (16,667 千円)</p> <p>エ 委託による街路樹の育成管理 (83,287 千円)</p> <p>オ 委託による除草伐木 (80,567 千円)</p> <p>②舗装の修繕</p> <p>ア 幹線道路の舗装修繕 (72,375 千円)</p> <p>イ 生活道路の舗装修繕 (122,363 千円)</p> <p>③交通安全施設の整備</p> <p>ア 歩道、待避所整備 (35,916 千円)</p> <p>イ カーブミラー等整備 (59,239 千円)</p> <p>④その他経費 (68,235 千円)</p> <p><b>【成果と課題】</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>概ね当初計画どおり 3 件の維持修繕工事、7 件の舗装工事、4 件の交通安全施設工事、1 件の歩道整備工事を実施した。</p> </div>						

事業の概要						
戦略	3	市道、その他市管理道路及び県道移譲路線の維持修繕	予算	1,396,259 千円	決算	1,322,111 千円
事務事業	3-2	県道維持事業	予算	172,361 千円	決算	163,206 千円
内容						
<p>3-2_県道移譲路線の維持修繕</p> <p>県から移譲された県道の維持修繕を行った。</p> <p>① 事務移譲県道の維持修繕</p> <p>ア 移譲対象 31 路線の維持修繕(158,523 千円)</p> <p>(ア)年間委託による維持修繕</p> <p>イ その他経費 (4,683 千円)</p> <p><b>【成果と課題】</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>当初計画どおり年間を通じて県道の維持修繕を実施した。</p> </div>						

事業の概要			
戦略	4	都市計画道路以外の幹線市道の整備（自転車通行空間の確保）	予算 390,652 千円 決算 308,096 千円
事務事業	4-1	幹線市道整備事業	予算 390,652 千円 決算 308,096 千円
内容			
<p>4-1_幹線市道の整備</p> <p>国、県道を補完して道路交通網を充実させる幹線道路の整備を行った。</p> <p>①土与丸御園宇線[事業延長 200m、幅員 12.50m]（61,440 千円） 道路改良工事、用地取得、物件移転補償</p> <p>②枕坂志和西線[事業延長 2,700m、幅員 9.75m]（14,400 千円） 測量・調査・詳細設計</p> <p>③土与丸上三永線[事業延長 600m、幅員 2.50m]（88,786 千円） 道路改良工事、用地取得、物件補償移転</p> <p>④(仮称)八本松スマートIC アクセス道路及び周辺道路の整備 ア (仮称)正力西 1 号線[事業延長 400m、幅員 9.75m]（7,478 千円） 測量設計 イ 正力飯田線他4路線[事業延長 1,780m]（14,678 千円） 測量設計</p> <p>⑤飯田工業団地線[事業延長 590m、幅員 2.5m]（9,106 千円） 用地取得、物件移転補償</p> <p>⑥武士郷曾線[事業延長 395m、幅員 9.25m]（6,807 千円） 補償調査、用地取得、物件移転補償</p> <p>⑦乃美尾兼広線[事業延長 1,000m、幅員 16.00m]（7,336 千円） 用地取得</p> <p>⑧黒瀬川 1 号線[事業延長 80m]（2,301 千円） 予備設計</p> <p>⑨大河内大沢線[事業延長 1,060m、幅員 9.25m]（7,200 千円） 道路改良工事</p> <p>⑩赤崎海岸線[事業延長 780m、幅員 9.25m]（79,899 千円） 道路改良工事</p> <p>⑪自転車活用推進計画(4,999 千円) 計画策定</p> <p>⑫その他経費（3,666 千円）</p>			

【成果と課題】

(仮称) 八本松スマート IC アクセス道路及び周辺道路他 9 路線について、測量設計、道路改良工事等を実施したが、関係機関協議等に不測の日数を要したことから年度内完了できない案件が発生した。

[土与丸上三永線 整備状況]



事業の概要				
戦略	5	県が整備する道路事業の促進	予算 33,904 千円	決算 26,111 千円
事務事業	5-1	国・県道路整備事業	予算 14,000 千円	決算 6,797 千円
内容				
<p>5-1_県が整備する道路事業の推進</p> <p>安全で安心な移動空間を確保するため、広島県が事業を行う地域の生活に必要な道路整備を行った。</p> <p>① 広島県が整備する道路事業の促進（6,797 千円）</p> <p>一般県道吉川西条線ほか 7 路線</p> <p>広島県が整備する国県道路に係る整備費の一部を、県条例の規定により負担した。</p> <p><b>【成果と課題】</b></p> <p>広島県が実施する道路事業への負担を行い、一定の事業の進捗はあったが、令和 3 年 7、8 月豪雨災害等の影響を受け、一部事業に遅れが生じている。</p> <p>遅れが生じた事業について、広島県と連携し地元調整を積極的に行い、整備促進を図る必要がある。</p>				

事業の概要						
戦略	5	県が整備する道路事業の促進	予算	33,904 千円	決算	26,111 千円
事務事業	5-2	県道整備事業	予算	19,904 千円	決算	19,314 千円
内容						
<p>5-2_県道の受託路線の整備</p> <p>県から受託した県道の整備を行った。</p> <p>①東広島向原線[事業延長 1,800m、幅員 5.0m] (19,314 千円)</p> <p>測量設計</p> <p><b>【成果と課題】</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>当初計画どおり県道東広島向原線について、測量設計を実施し、事業の推進を図った。</p> </div>						

事業の概要				
戦略	6	生活道路における緊急自動車等の安全な通行空間の整備	予算 261,592 千円 決算 114,492 千円	
事務事業	6-1	生活市道整備事業	予算 261,592 千円 決算 114,492 千円	
内容				
<p>6-1_生活道路の整備</p> <p>日常生活において集落等を連絡する生活道路の整備を行った。</p> <p>①道路改良工事を行った路線[事業延長 2,639m] (87,096 千円) 前長沢 2 号線他 4 路線</p> <p>②業務委託(測量設計、用地測量、補償調査)を行った路線[事業延長 2,343m] (17,491 千円) 御菌宇西 17 号線他 4 路線</p> <p>③用地取得、物件補償を行った路線[事業延長 860m] (9,613 千円) 下三永 20 号線他 3 路線</p> <p>④その他経費 (292 千円)</p> <p><b>【成果と課題】</b></p> <p>生活市道 12 路線について、道路改良工事、業務委託等を実施したが、入札不調等の影響により、年度内に完了できない案件が発生した。</p>				
<p><b>[前長沢 2 号線 整備状況]</b></p>				
 <p style="text-align: center;">[整備前]</p>			 <p style="text-align: center;">[整備後]</p>	



令和 3 年度 目的別事業群総括管理 ( 決算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な水の提供や公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 循環型社会の構築	主管部局・所属	生活環境部 廃棄物対策課
関係部局・所属	生活環境部	市民生活課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	3R活動を推進し、高効率発電によるごみのエネルギー化を進めるとともに、最終処分場が不要なごみ処理システムを導入することにより、循環型社会の構築を目指す。	現状	①ごみ量が減らない。 ②資源化率が上がらない。		
課題		仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
市の責務である一般廃棄物を適正に処理する必要がある。		一般廃棄物の適正処理		高	1
一人1日当たりのごみ量が県内他市と比べて多い。		一般廃棄物の減量化の推進		中	2
分別収集を徹底しているが資源化率が上がらない。		資源化の促進		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 市民一人1日当たりのごみ排出量	986 ( H30 ) マイナス指標設定	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	959	935	906	850 ( R6 )	g
			947	935		90.9%	
			101.3%	100.0%			
(4) 資源化率	10 ( R1 )		10	17	24	27 ( R6 )	%
			10	16		57.4%	
			97.0%	91.2%			
(5)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	
	R2年度		1,179,421		1,033,473	88,719千円
			1,169,581		1,023,475	
	R3年度		1,250,166		1,093,977	
			1,238,671		1,081,745	

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	4・2・2 一般廃棄物適正処理事業	廃棄物対策課	5.50	1,105,728	1,150,445
				977,346	1,026,663
1-2	4・1・4 環境美化及び保護事業	廃棄物対策課	1.60	30,949	38,470
				27,754	27,990
2-1	4・2・2 一般廃棄物減量化推進事業	廃棄物対策課	3.00	5,353	18,874
				2,935	8,981
2-2	2・1・12 フードロス削減推進事業	市民生活課・廃棄物対策課	0.96	2,468	3,012
				2,266	2,463
3-1	4・2・2 資源化促進事業	廃棄物対策課	3.00	34,923	39,365
				23,172	27,880
合計			14.06	1,179,421	1,250,166
				1,033,473	1,093,977

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析
156,189千円	家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託について執行残が生じたことによる。

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
95.6%	市民を対象とした出前講座等の啓発活動に制限がある中、一定の成果を上げることができた。広島中央エコパークでの焼却によりスラグ化等され資源化率が向上した。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	循環型社会の構築を目的として、啓発活動や生ごみ処理容器の購入費補助、生ごみ処理機の貸出によるごみ減量化、広島中央エコパークの運用開始による資源化の推進などにより、市民一人1日当たりのごみ排出量を削減、資源化率の向上を達成することができた。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	一般廃棄物の収集運搬や生ごみの収集運搬及びたい肥化について、業務委託により概ね適正に処理できた。
外的要因	外的な要因による影響があったのか。	町内会やPTAなどの団体による資源回収量が、新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和元年度以前に比して大幅に減少している。

10 総合評価

総合評価	<総評>
A	外的要因があったものの、減量化・資源化に関する施策の効果もあり、市民一人1日当たりのごみ排出量は減少した。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
市民一人1日当たりのごみ排出量は前年度と比較して減少しているが、家庭系ごみの大半を占める燃やせるごみについては微増であり、さらなる減量化への取組が必要である。	啓発活動の推進により更なる減量化・資源化を図るとともに、家庭系の燃やせるごみについて、排出量に占める生ごみの割合が高いことから、生ごみの水切りによる減量化を推進する。事業系可燃ごみについても、たい肥化等による資源化・減量化を展開していく。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	① 循環型社会の構築

事業の概要			
戦略	1 一般廃棄物の適正処理	予算 1,188,915千円	決算 1,054,653千円
事務事業	1-1 一般廃棄物適正処理事業	予算 1,150,445千円	決算 1,026,663千円

内容

1-1\_一般廃棄物の適正処理

①家庭系ごみの分別・収集方法の啓発強化 (9,053千円)

ア 広島中央エコパークの供用開始にあわせた啓発強化 (うち9,053千円)

(ア)新しいごみ分別による「ごみブック」の作成、全戸配布 (うち8,133千円)



(イ)新しいごみ分別による「ごみの出し方」全戸配布 (うち547千円)

(ウ)新しいごみ分別により「ごみの出し方」の外国語版の作成 (うち373千円)

英語、中国語、インドネシア語、ポルトガル語、ベトナム語及びタガログ語の6言語を作成した。

イ 大学生に対するごみの出し方講座の開催 (うち0千円)

市内大学の入学生を対象としたごみの出し方講座は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

②事業系ごみの分別方法の啓発強化 (1,587千円)

ア 事業系「ごみブック」の作成 (うち1,587千円)

事業所向けの「ごみブック」を作成し、市内事業所に配布し、適正排出を推進した。



・配布実績：5,261件

## 事業の概要

### イ 事業系ごみの分別の見直し（うち 0 千円）

ごみ減量化及び資源化を目的として、事業系（アパート・マンション）の収集形態を調査した。

- ・調査件数：27 事業所

### ③ごみ出し支援（29,198 千円）

#### ア ごみ指定袋の無料交付（うち 0 千円）

2 歳未満の子の養育者、公的支援措置として紙おむつの交付を受けている障害者等を対象に「ごみ指定袋」を無料交付した。

- ・交付数：2,182 件

#### イ ふれあい収集の実施（うち 24,234 千円）

ごみ出しが困難な一人暮らし等の高齢者や障害者を対象に、ごみの戸別回収及び希望に応じ安否確認を実施した。

- ・利用世帯数：407 世帯（うち安否確認 95 世帯）

#### ウ ライター・電池の拠点回収（うち 584 千円）

市役所本庁・支所・出張所で処理が困難なライター、電池を回収した。

- ・回収量：11.9 t

#### エ ごみステーション収集用ボックス等整備補助（うち 4,380 千円）

ごみの適正排出と生活環境の保全を図るため、ごみ収集用ボックス又はごみ散乱防止用ネットを新たに整備する団体に対し、必要な経費の一部を助成した。

- ・補助件数：収集用ボックス 32 件、散乱防止用ネット 8 件

### ④ごみの適正収集（975,601 千円）

#### ア 家庭系ごみの収集（うち 970,457 千円）

(ア) 市内約 2,900 か所のごみステーションからのごみを収集（うち 842,351 千円）

(イ) ごみ指定袋・処理券等の作成、販売（うち 128,106 千円）

#### イ 一般廃棄物適正排出指導の実施（うち 5,144 千円）

(ア) 適正排出指導員を 2 名配置（うち 4,764 千円）

(イ) 事業系ごみの適正排出を指導（うち 207 千円）

- ・指導数：8 事業所

(ウ) 事業所を対象に減量化、資源化に向けたアンケート実施（うち 173 千円）

- ・アンケート回答件数：1,439 件

### ⑤液状一般廃棄物の収集支援（11,224 千円）

#### ア 安芸津地域の液状一般廃棄物収集業者への補助

広島中央エコパーク稼働開始に伴い、し尿及び浄化槽汚泥収集運搬経路の延伸により増加する市民の負担を軽減するため、液状一般廃棄物収集業者へ補助を行った。

事業の概要			
戦略	1	一般廃棄物の適正処理	予算 1,188,915千円 決算 1,054,653千円
事務事業	1-2	環境美化及び保護事業	予算 38,470千円 決算 27,990千円
内容			
1-2_環境美化及び保護への取組み			
①環境美化活動 (1,553千円)			
ア きれいなまちづくりキャンペーンの実施 (うち622千円)			
6月の環境月間に合わせて実施を予定していた「きれいなまちづくりキャンペーン」は、自治会等へ実施回覧を配布した後、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。			
イ 環境美化強化地域の清掃 (うち849千円)			
環境美化強化地域の内、9地域の清掃業務を実施した。			
ウ 環境美化強化地域の看板設置 (うち82千円)			
・看板設置1枚：酒蔵通り			
②不法投棄防止活動 (21,269千円)			
ア 不法投棄防止看板の製作 (うち905千円)			
不法投棄が発生する場所に看板設置を希望する市民に対して、不法投棄防止看板等を製作、配付した。			
・看板：405枚製作 318枚配付			
イ 不法投棄パトロール及び不法投棄ごみの回収 (うち19,153千円)			
市内を4区域に分け不法投棄監視パトロールを行い、不法投棄の防止啓発を行うとともに、不法投棄ごみを早期に回収処理した。			
(7)ごみ回収量			
・105t、回収箇所数：653か所 (地域清掃回収を含む)			
(1)老朽車両の更新			
・半導体不足により年度内納入が不可能となった。			
ウ 不法投棄ごみの処理 (うち1,059千円)			
家電4品目、タイヤ、消火器等処理困難物の処理を行った。			
・処分量：家電4品目151台、タイヤ252本、消火器18本等			
エ 不法投棄されない環境づくり (うち152千円)			
・監視カメラ設置箇所：移動式カメラ14台を延べ21箇所			
③公衆衛生推進団体の育成支援(5,168千円)			
ア 地域活動費支援 事務費等 (うち2,294千円)			
イ 環境活動費支援 (うち2,874千円)			
環境保全監視員94名による不法投棄監視パトロール及びごみ収集に対する支援を行った。			

事業の概要				
戦略	2	一般廃棄物の減量化の推進	予算 21,886 千円	決算 11,444 千円
事務事業	2-1	一般廃棄物減量化推進事業	予算 18,874 千円	決算 8,981 千円
内容				
2-1_一般廃棄物の減量化の推進				
①ごみの減量化の促進 (8,981 千円)				
ア 生ごみ水切り器の配布 (うち 5,192 千円)				
(ア) 出前講座受講者に生ごみ水切り器を配布				
(イ) 希望者に対し生ごみ水切り器を配布				
				
イ ごみの減量アイデアコンテストの開催 (うち 122 千円)				
ごみ減量のアイデアを募集したところ 55 件の応募があり、そのうち優秀な作品 8 点を表彰した。				
				
(R3 ごみ減量アイデアコンテスト表彰式)				
ウ 啓発活動の強化 (うち 337 千円)				
(ア) ごみ減量化に係るチラシを作成・配布 (うち 337 千円)				
配布数：60,000 部 (折込にて配布)				
(イ) 広報紙、FM 東広島等を活用した広報活動				
広報紙や FM ラジオを活用し、広島中央エコパーク稼働開始による分別種の変更について周知を行った。				
エ ごみ減量出前講座の開催 (うち 0 千円)				
3R、広島中央エコパーク、新しいごみ分別種等に関する講座を開催した。				
・開催回数 51 回、参加者数 1,381 人				
オ 生ごみ処理容器等の購入費補助・貸出し (うち 3,330 千円)				
(ア) 生ごみ処理容器等の購入費用の一部を補助 (うち 2,842 千円)				
・生ごみ処理容器等購入補助：195 個				
(内訳) 電気式 111 個、剪定枝 6 個、コンポスト 69 個、				

## 事業の概要

EM菌処理 9 個

(1) 生ごみ処理容器の貸出し（うち 488 千円）

・電気式生ごみ処理機貸出：延べ 50 個

② 一般廃棄物の分析調査と削減方針の策定（0 千円）

ア 家庭系ごみ・事業系ごみのごみ質の分析

分析業者人員不足により入札不調となり執行できなかった。

### 【成果・課題】

ごみの減量化に向けて、どのようなごみが多いのか組成分析を行う予定であったが受注業者がおらず実施できなかった。早急に分析調査を実施することにより実態を把握し、適切な削減方針を策定する必要がある。

事業の概要				
戦略	2	一般廃棄物の減量化の推進	予算 21,886 千円	決算 11,444 千円
事務事業	2-2	フードロス削減推進事業	予算 3,012 千円	決算 2,463 千円
内容				
2-2_フードロス削減の推進				
① フードロス削減啓発の取組み (2,280 千円)				
ア フードロスゼロ運動の実施 (うち 1,880 千円)				
食品ロス削減に係る標語やレシピ等の募集を行い、標語については最優秀作品をポスターにして配布した。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標語応募件数：1,032 件</li> <li>・ レシピ応募件数：614 件</li> </ul>				
				
(R3 食品ロス削減標語表彰式)				
イ 食品ロス削減イベントの実施 (うち 59 千円)				
食品ロス削減啓発に係る映画上映会を開催した。				
ウ 食品ロス削減協力店への取組 (うち 341 千円)				
食品ロス削減に係る啓発グッズやポスターを配付した。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品ロス削減協力店の登録 (R3 年度末現在)：166 店</li> </ul>				
② フードドライブの実施 (183 千円)				
ア フードドライブ事業の実施				
事業ポスター140 枚作成・新聞広告掲載等により周知を行い、食品ロスとなりうる食品を回収し、福祉施設等に分配するフードドライブ事業を実施した。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄贈者数 63 者、個数 573 個、519kg</li> </ul>				

事業の概要				
戦略	3	資源化の促進	予算 39,365 千円	決算 27,880 千円
事務事業	3-1	資源化促進事業	予算 39,365 千円	決算 27,880 千円
内容				
3-1_資源化の促進				
①生ごみのたい肥化 (2,020 千円)				
<p>市内 3 給食センターから排出される食品残渣をたい肥化事業者へ搬入し、たい肥化した。また、家庭からの生ごみ回収について、モデル的に拠点回収として八本松地域センターにて実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 給食センター回収分：92.9 t</li> <li>・ 八本松地域センター回収分：0.3 t</li> </ul>				
【成果・課題】				
<p>家庭からの生ごみ回収については、当初は 2 拠点での実施を調整したが、管理や悪臭等の課題が懸念され、1 拠点での実施となった。協力団体である八本松住民自治協議会とこれらの課題を共有・解決していくことにより、生ごみ回収の実現方法を検討する。</p>				
②資源回収団体等への活動支援 (15,408 千円)				
<p>資源回収を実施する団体へ回収量に応じた報償金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付団体：206 団体</li> <li>・ 報償金額合計：15,270 千円</li> </ul>				
③有価物の回収促進 (3,414 千円)				
ア 雑がみ回収袋の配布 (うち 770 千円)				
<p>希望する市民及び出前講座参加者へ雑がみ回収袋を配布した。</p>				
イ 古布・古着、小型家電の拠点回収 (うち 2,644 千円)				
<p>市役所本庁・支所・出張所等の拠点において古布・古着、小型家電を回収した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回収量：古布・古着 103 t 小型家電 15 t</li> </ul>				
④剪定枝の資源化促進 (7,038 千円)				
<p>剪定枝破砕車 (タウンビーバー) の利用については、1 世帯から利用できるよう要件を緩和し、利用の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用件数：159 件</li> </ul>				
⑤廃棄物減量等推進員の活動支援 (0 千円)				
<p>廃棄物減量等推進員 (リサイクル推進員 66 名) を対象に講演会等の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。</p>				



令和 3 年度 目的別事業群総括管理（ 決算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H30年度）	目標値（R6年度）
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 水の安定供給	主管部局・所属	水道局 業務課
関係部局・所属	水道局 工務課	水道局	給水課
	生活環境部 環境先進都市推進課	地域振興部	豊栄支所地域振興課
	地域振興部 河内支所地域振興課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	安全で良質な水を安定的に供給する。	現状	現状は安定供給できているが将来に向けて多くの課題がある。	
	課題	仮説に基づく戦略		寄与度 戦略No.
	永続的に安定供給できる体制が構築できていない。	水道事業	中	1
	専用水道及び飲料水供給施設の持続可能性を確保する必要がある。	専用水道施設及び飲料水供給施設の維持管理	中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R2	R3	R4		
(ア) 水道管路の耐震化率	11.2 ( H30 )	12.5	13.3	14.4	16.7 ( R6 )	%
		12.9	13.5		80.8%	
		103.2%	101.5%			
(イ)	( )				( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費（千円）	一般会計	R2年度		R3年度		
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
目的別事業群事業費（千円）	事業費	11,618	11,041	22,156	17,804	
		一般財源	9,606	8,620	20,125	11,615
		人件費	R2年度		R3年度	
				1,641千円		
	公営企業会計	R2年度		R3年度		
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
		収益的収入	5,258,310	5,274,220	5,211,863	5,195,562
		収益的支出	4,709,620	4,616,361	4,816,628	4,655,436
		差引	548,690	657,858	395,235	540,126
		当年度純利益(又は純損失)	488,501	613,710	306,461	477,210
		資本的収入	284,246	161,362	148,082	110,149
		資本的支出	1,271,122	1,070,908	1,474,384	1,173,808
		差引	△ 986,876	△ 909,547	△ 1,326,302	△ 1,063,659
		うち人件費	R2年度		R3年度	
			436,386千円			



概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	② 水の安定供給

事業の概要			
戦略	1 安全・安心な水道水の安定供給	予算 6,291,012 千円	決算 5,829,244 千円
事務事業	1-1 水道事業【水道事業】	予算 6,291,012 千円	決算 5,829,244 千円

内容

1-1\_安全・安心な水道水の安定供給

(水道事業会計)

水道は市民生活に欠かすことのできないライフラインである。そのため、「安全」「強靱」「持続」の観点から、水質管理及び施設の維持管理を徹底し、水道施設の整備、更新及び耐震化を着実に実施するとともに、経営基盤の強化を図ることにより、安全で良質な水を安定的に供給した。

① 水道施設の整備・更新・強靱化(554,932 千円)

給水要望地域への給水及び安定給水を目的とした配水管の整備を行うとともに、計画に基づく管路・施設の更新及び耐震化を進めた。

ア 第6期拡張事業(H29～R12) 全体概算事業費:5,906,146 千円

(うち 256,091 千円)

- 上水道拡張工事 (配水管布設) 218,202 千円
- 配水管測量設計業務 37,685 千円
- ポンプ所用地買収 204 千円

【成果・課題】

給水要望4地域と、安定供給を目的とした3地域の配水管の整備を進めた。

水道未普及地域に関しては、井戸等飲料水確保の代替手段があり、給水を要望しない地域もあるため、早期の普及率向上は困難であるが、継続して給水要望事業の周知を図り、事業を進める必要がある。

イ 管路更新計画(H24～R10) 全体概算事業費:5,160,542 千円

(うち 190,710 千円)

- 管路更新 (耐震化) 工事 (配水管布設替) 147,969 千円
- 配水管布設替測量設計業務 40,840 千円
- 下水道工事との共同施工に係る負担金 1,901 千円

【成果・課題】

老朽化した管路を更新及び耐震化するため、7地域の配水管布設替工事を進めた。

今後、法定耐用年数を超過する管路が急増することから、更新率の向上を図り、着実に事業を進めていかなければならない。そのため、技術職員の確保・育成や技術の継承のための対策及び業務の効

## 事業の概要

率化を推進する必要がある。

ウ 施設更新計画(H23～R10) 全体概算事業費:3,360,860 千円  
(うち 61,272 千円)

- ポンプ所築造替工事 26,546 千円
- ポンプ所築造替工事監督事務費負担金 395 千円
- 配水池防水工事 34,331 千円

### 【成果・課題】

老朽化したポンプ所の築造替え及び、配水池防水工事を進めた。  
施設の更新及び耐震化には多大な費用と時間を要することから、  
必要な補強、補修を適時実施することによって、延命化及び平準化  
を図り、計画的に更新及び耐震化を実施していく必要がある。

エ 設備更新計画(R2～R32) 全体概算事業費:12,319,125 千円  
(うち 46,859 千円)

- 水道施設設備更新実施設計業務(電気・機械・計装) 46,859 千円

### 【成果・課題】

老朽化した設備を更新するため、10 箇所の実施設計を行った。5  
箇所の更新工事に着手したが、新型コロナウイルス感染症対策によ  
り、部品の納期が遅れたため、翌年度に繰り越した。  
現状で耐用年数を超過した設備が多く存在しているため、定期的  
な点検と補修による延命化を図ることによって、安定的に稼働させ  
つつ、着実に更新していく必要がある。

## ② 安全な飲料水の確保(78,852千円)

安全で良質な水を安定的に供給するため、水質管理を徹底し、水質異常の  
早期発見に努めるとともに、施設の適正な維持管理を行った。

- 水質検査業務、管末水質監視業務、水源監視業務 53,950 千円
- 浄水場管理業務、巡回点検業務 15,488 千円
- 水道施設機械警備業務 9,414 千円

## ③ 水道事業経営の健全化(72,868 千円)

経営基盤の強化と効率的な経営を行い、事業の健全性を維持するため、漏  
水の低減、民間活力を活用した滞納整理等に取り組んだ。

- 漏水調査業務 5,313 千円
- 夜間・休日漏水初期対応業務 8,808 千円
- 滞納整理管理業務 44,452 千円
- 料金改定計画策定等支援業務 12,485 千円
- 広域連携の推進 1,810 千円

企業団設立準備協議会に参加し、企業団への参画の是非を判断するた  
め、参加事業体間の具体的協議・調整を行った。

事業の概要			
戦略	2 専用水道施設及び飲料水供給施設の維持管理	予算 22,156 千円	決算 17,804 千円
事務事業	2-1 専用水道等運営事業	予算 22,156 千円	決算 17,804 千円
内容			
2-1_専用水道等運営事業の推進			
<p>①豊栄中央住宅団地専用水道施設の管理運営（12,982千円）</p> <p>ア 水道局委任事務（維持管理業務、水道使用料徴収事務）</p> <p>イ 水質検査業務</p> <p>ウ 受水槽、浄水設備施設管理業務</p> <p>エ 水道施設の毎日水質検査、毎日施設点検業務</p> <p>オ 消耗品費、光熱水費、通信運搬費、小修繕費等</p> <p>カ 清武団地受水槽ポンプ交換  豊栄中央住宅団地専用水道施設の清武団地の受水槽から各戸に配水する配水ポンプが耐用年数を経過しているため、交換を行った。</p> <p>キ 清武団地断水対応  清武団地において発生した断水対応のため、原因調査、応急給水、取水ポンプの交換を行った。</p> <p>②河内町大仙地区飲料水供給施設の管理運営（4,822千円）</p> <p>ア 水道局委任事務（維持管理業務、水道使用料徴収事務）</p> <p>イ 水質検査業務</p> <p>ウ 受水槽、浄水設備施設管理業務</p> <p>エ 水道施設の毎日水質検査、毎日施設点検業務</p> <p>オ 消耗品費、光熱水費、通信運搬費、小修繕費等</p>			



令和 3 年度 目的別事業群総括管理（ 決算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H30年度）	目標値（R6年度）
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 公共用水域の水質保全	主管部局・所属	下水道部 下水道管理課
関係部局・所属	下水道部 下水道建設課	下水道部	下水道施設課
	生活環境部 環境先進都市推進課	地域振興部	河内支所地域振興課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市域の汚水を適正に処理し、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。	現状	東広島市汚水適正処理構想に基づき、下水道整備事業及び小型浄化槽設置整備事業を進めているが、みなし浄化槽・汲取りの件数が多数残り、生活雑排水が未処理のまま公共用水域に入っている。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
下水道管渠整備の進捗が遅れ、既存の下水道施設の維持管理費及び老朽化に伴う施設の増設・更新が必要。	下水道事業の推進		中	1
下水道等整備区域外から発生する生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する必要がある。	浄化槽設置整備の促進		中	2
水質汚濁防止を目的に河内町小田地区に設置した特定地域生活排水処理施設を適切に管理する必要がある。	特定地域生活排水処理施設の運営管理		中	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(ア) 下水道処理人口普及率	47.2 ( H30 )	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	49.1	50.2	51.3	53.4 ( R6 )	%
			47.7	47.8			
			97.1%	95.2%		89.5%	
(イ) 小型浄化槽設置基数(改築分)	92 ( H30 )		130	130	130	130 ( R6 )	基
			71	105		80.8%	
(ウ) 法定検査受検率	76.7 ( H30 )		77.7	77.9	78.2	78.5 ( R6 )	%
			76.2	79.4		101.1%	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	一般会計等	R2年度		R3年度		
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
	事業費	76,549	51,712	70,489	60,412	
		一般財源	34,731	24,133	16,279	5,500
		人件費	R2年度		R3年度	
				1,893千円		
	公営企業会計	R2年度		R3年度		
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
		収益的収入	4,840,658	4,869,874	5,048,138	5,040,124
		収益的支出	4,552,731	4,343,480	4,814,955	4,301,560
		差引	287,927	526,394	233,183	738,564
		当年度純利益(又は純損失)	123,390	377,783	8,059	473,125
資本的収入		4,119,582	3,107,361	4,485,667	5,566,406	
資本的支出	5,648,615	4,563,353	5,973,565	7,079,074		
差引	△ 1,529,033	△ 1,455,992	△ 1,487,898	△ 1,512,668		
	うち人件費	R2年度		R3年度		
				348,699千円		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	下水道事業【下水道事業】	下水道部	41.09	10,201,346	10,788,520
				8,906,833	11,380,634
2-1	4・1・4 浄化槽設置整備事業	環境先進都市推進課	1.97	65,734	59,686
				41,871	50,603
3-1	1・1・1 特定地域生活排水処理施設管理事業【特排特会】	環境先進都市推進課	0.30	10,815	10,803
				9,841	9,809
合計			43.36	10,277,895	10,859,009
				8,958,545	11,441,046

7 R3事業費の分析(差額＝「R3年度当初予算額」－「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	-582,037千円	分析	下水道事業について、令和2年度の工事が繰り越しとなったことにより、決算額が令和3年度当初予算を上回る結果となった。
----	------------	----	---

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	92.6%	分析	下水道事業において、平成30年7月豪雨災害復旧支援を優先させ、管渠整備事業を縮小し、進捗調整したこと。また、浄化槽設置整備事業において、社会情勢等により、汲取りやみなし浄化槽からの転換が前年度から増加したが、目標値を下回っている。
-------	-------	----	---

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	公共下水道や浄化槽によるし尿や雑排水の適正な処理を図ることで、生活環境の保全や公衆衛生の向上に寄与している。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	下水道事業の終末処理場建設は、日本下水道事業団と工事委託等により実施しており、効率的な事業進捗が図られている。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	下水道事業において、平成30年7月豪雨災害復旧支援を優先させ、管渠整備事業を縮小し、進捗調整したため、下水道処理人口普及率の目標値を下回っている。

10 総合評価

総合評価	B	<総評>
		下水道事業においては、災害復旧支援を優先したことによる管渠整備の遅れで、下水道処理人口普及率の目標値を下回る結果となった。また、流入水量の増加に対応するための東広島浄化センター増設工事では、入札不調等により一部工事で繰越が生じたが、概ね計画通りに整備が進捗している。経営面では、経常収支比率及び経費回収率で、使用料収入の増加等により、対前年比がそれぞれ増となり、いずれも健全経営の水準100%を超えている。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
<p>本市の下水道処理人口普及率は、国や県に比べ依然低い状況にあり、下水道未普及地域のより一層の整備の促進と今後到来する下水道処理施設等の老朽化による改築需要の増加に対応するため、実効性のある計画と効率的な業務体制の整備が必要である。</p> <p>みなし浄化槽設置者は、既に水洗化されていることから、合併浄化槽に改築する意識が低い傾向にある。</p>	<p>管渠整備の遅れに対し、現在取り組んでいる本市下水道未普及解消整備計画の修正により、実効性のある計画に見直しを行うことで、下水道処理人口普及率の向上を図る。また、施設整備の財源となる国庫補助金等の確保を、国や県に対して継続的に要望していく。</p> <p>みなし浄化槽設置者に個別案内を行うなど、補助制度の周知を図る。また、国や県に対して補助制度の継続・強化を引き続き要望していく。</p>

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	③ 公共用水域の水質保全

事業の概要					
戦略	1 下水道事業の推進	予算	10,788,520 千円	決算	11,380,634 千円
事務事業	1-1 下水道事業【下水道事業】	予算	10,788,520 千円	決算	11,380,634 千円

内容

下水道事業会計

1-1\_下水道事業の効率化、経営の健全化の取組み

①下水道経営の健全化（1,367,857千円）

下水道サービスを継続して安定的に提供していくため、施設の維持管理費の抑制、使用料の収納率向上のための滞納整理、未接続者への普及啓発活動に取り組み、下水道経営の健全化を図った。

- ・ 処理場管理 (うち 1,155,148 千円)
- ・ 管渠・ポンプ場管理 (うち 121,093 千円)
- ・ 使用料徴収事務委託 (うち 85,676 千円)
- ・ 水洗便所改造資金貸付金 (うち 5,940 千円)

②計画的、効率的な施設の建設と更新（5,101,636千円）

ア 東広島浄化センター増設・改築工事（うち 4,341,400千円）

流入水量の増加に対応するため、東広島浄化センターの増設工事を引き続き実施し、適正な進捗管理により概ね計画どおりに事業が執行された。

- ・ 東広島浄化センター 11、12池増設の土木建築、機械電気工事等  
(概算総事業費 9,920,630千円)

	H30	R1	R2	R3	R4
基本・詳細設計					
11、12池工事					



(東広島浄化センター増設工事：令和4年7月撮影)

## 事業の概要

### イ 未普及解消整備計画に基づく污水管渠整備工事（うち 554,302 千円）

早期に未普及地域を解消するため、未普及解消整備計画に基づく污水管渠整備工事を実施し、下水道処理人口普及率を向上させた。

- ・污水管渠実施設計業務（うち 66,232 千円）
- ・污水管渠建設工事（うち 488,070 千円）

#### 【成果・課題】

平成 30 年 7 月豪雨災害の影響による事業費抑制により、未普及解消整備計画に基づく污水管渠整備に遅れ（目標値 50.2%、実績値 47.8%）が生じているが、整備計画を見直し中であり、遅れを取り戻す対策も含め適正な進捗管理に努めながら、令和 17 年度の概成を目標に事業を進めていく。

### ウ スtockマネジメント計画に基づく施設更新（うち 130,937 千円）

下水道サービスを継続して安定的に供給するため、Stockマネジメント計画に基づく施設の更新を計画的に進めた。

- ・Stockマネジメント実施設計（うち 40,226 千円）
- ・Stockマネジメント工事（うち 59,009 千円）
- ・志和堀地区農業集落排水処理施設長寿命化工事（うち 31,702 千円）

### エ 污水管渠更生工事（うち 74,997 千円）

雨天時の不明水による終末処理場の浸水被災を防止するため、不明水対策として污水管渠更生工事を実施し、施設の健全化を図った。

- ・板城地区農業集落排水管渠更生工事（74,997 千円）

## ③災害に強い下水道の構築（48,046 千円）

### ア マンホールトイレ設置工事（48,046 千円）

災害時の避難所における快適なトイレ環境を確保するため、マンホールトイレ設置工事を行った。



（東広島運動公園）



（高美が丘小学校）

事業の概要						
戦略	2	浄化槽設置整備の促進	予算	59,686 千円	決算	50,603 千円
事務事業	2-1	浄化槽設置整備事業	予算	59,686 千円	決算	50,603 千円

内容

2-1\_浄化槽設置整備の促進

①小型浄化槽設置補助（改築）（38,020 千円）

みなし浄化槽又は汲取りから合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、設置費用の一部を補助した。

浄化槽 区分	補助限度額	申請基数	交付額	国補助金 (1/2)	県補助金 (1/3)
5人槽	332 千円	73 基	24,236 千円	12,118 千円	8,079 千円
7人槽	414 千円	28 基	11,592 千円	5,796 千円	3,864 千円
10人槽	548 千円	4 基	2,192 千円	1,096 千円	730 千円
合計		105 基	38,020 千円	19,010 千円	12,673 千円

【成果・課題】

目標値を 130 基としていたが、105 基の申請であった。  
課題としては、公共用水域の水質保全のため、合併浄化槽への切替の必要性や補助制度の啓発を行い、制度の利用につなげる必要がある。

②みなし転換に伴う浄化槽撤去及び配管工事費補助（12,300 千円）

みなし浄化槽から合併浄化槽への切替えの場合、みなし浄化槽の撤去費用及び配管工事費用の一部を補助した。

区分	補助限度額	申請基数	交付額	国補助金 (1/2)
みなし浄化槽撤去	90 千円	30 基	2,700 千円	1,350 千円
配管工事	300 千円	32 基	9,600 千円	4,800 千円
合計			12,300 千円	6,150 千円

③浄化槽の法定検査の受検推進等（283 千円）

法定検査の未受検者等を対象に、受検指導を実施した。

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3 (速報値)
受検率(%)	71.8	76.3	75.3	76.3	76.2	79.4

【成果・課題】

未受検者への勧奨、指導、新規浄化槽利用者に対し受検するよう指導を行ったことにより、令和 2 年度の全国平均 (45.7%)、広島県 (71.2%) を超える数値を維持している。  
課題としては、公共用水域の水質保全のためには受検率が高いことが望ましく、引き続き受検率の向上に努める必要がある。

事業の概要				
戦略	3	特定地域生活排水処理施設の運営管理	予算 10,803 千円	決算 9,809 千円
事務事業	3-1	特定地域生活排水処理施設管理事業【特排特会】	予算 10,803 千円	決算 9,809 千円
内容				
<p>3-1_特定地域生活排水処理施設の運営管理</p> <p>①特定地域生活排水処理施設の管理運営（9,809 千円）</p> <p>河内町小田地区に設置した特定地域生活排水処理施設を適切に運営・維持管理を行った。</p> <p>（対象 132 基、うち 120 基が現在稼働中、廃止 3 基、休止 9 基）</p>				

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 ( 決算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	4 豊かな自然環境の保全
施策の将来の目標像	地域の自然環境の持つ価値や機能が十分に認識され、豊かな自然環境を維持・保全することで、市民の健康で快適な暮らしが維持され、自然と調和した潤いのある社会が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	「良好な水辺環境などの水資源があるまち」として満足している市民の割合	25%	60%
	「空気のきれいさ」に対して満足している市民の割合	70%	90%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 豊かな自然環境の保全	主管部局・所属	生活環境部 環境先進都市推進課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	良好な生活環境の保全や生物多様性の維持	現状	市民の環境意識の低下への懸念	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	市街化の進展等に伴う環境悪化が懸念される	環境汚染の未然防止	高	1
	犬・猫に関する苦情が多く、適正な飼養と飼主のマナー向上を図る必要がある	犬・猫の適正な飼養の促進	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 環境基準達成率	86.7 ( R1 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	87.3	87.9	88.5	90.0 ( R6 )	%
			87.4	85.0		94.4%	
			100.1%	96.7%			
(4) 狂犬病予防注射接種率	75.0 ( R1 )		75.7	76.2	76.8	78.0 ( R6 )	%
			72.9	74.2		95.1%	
			96.3%	97.4%			
(7)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R2年度		44,623		35,858		35,084千円
		37,252		26,789		
R3年度		50,695		35,475		
		33,827		19,651		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	4・1・4 環境保全事業	環境先進都市推進課	3.96	36,435	39,795
				27,688	26,238
2-1	4・1・2 狂犬病予防事業	環境先進都市推進課	1.60	8,188	10,900
				8,170	9,237
合計			5.56	44,623 35,858	50,695 35,475

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析
15,220千円	環境保全事業の委託業務の入札残が主な要因である。

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
97.0%	環境基準達成率は、概ね目標を達成している。狂犬病予防接種率は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により落ち込んだが、令和3年度は集合注射の秋開催や接種勧奨などにより向上した。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	豊かな自然環境の保全と市民の快適な暮らしづくりのため、環境保全と生活衛生向上に関する事業は概ね推進できた。 犬猫の適正な飼養の促進のため、飼い主への啓発、広報、動物愛護ボランティアとの協働での取り組みを行うことができた。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	環境測定等の委託業務は、一般競争入札により業者を選定している。 動物愛護についての普及・啓発活動の推進に関する財源調達として、クラウドファンディングを行い、動物愛護ボランティアとイベントを共催し、多数集客することができた。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	第2次東広島市環境基本計画の策定に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ワークショップの開催が限定されたものの、個別ヒアリングにより意見の収集を行った。

10 総合評価

総合評価	<総評>
A	豊かな自然環境の保全と市民の快適な暮らしづくりのため、環境保全と生活衛生の向上に関する事業は概ね推進できた。 集合注射の秋開催や飼い主への接種勧奨などにより、狂犬病予防注射接種率が向上した。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
東広島市の環境(環境白書)は、環境基本計画の年次報告書に位置付けているが、計画に基づく取組みに関する記載が不十分である。また、掲載する環境測定結果は一部にとどまっている。 狂犬病予防注射を接種していない飼い犬が存在し、また、野良犬猫に関する相談が多く寄せられている。	東広島市の環境(環境白書)を第2次東広島市環境基本計画の年次報告書となるよう取組み内容を見直し改定する。併せて、本市の環境測定データを広く市民に公表するため、オープンデータ化を進める。 引き続き、犬猫の飼い主の適正飼養の啓発、野良犬猫対策等、地域課題への対応を図る。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	4 豊かな自然環境の保全	① 豊かな自然環境の保全

事業の概要					
戦略	1 環境汚染の未然防止	予算	39,795 千円	決算	26,238 千円
事務事業	1-1 環境保全事業	予算	39,795 千円	決算	26,238 千円

内容

1-1\_環境汚染の未然防止

①環境監視による地域環境の維持・向上（24,558 千円）

ア 環境監視の実施（うち 19,177 千円）

- ・大気・水質・騒音などの各種データの収集、分析等の環境調査を実施した。
- ・環境白書及びホームページにおいて結果を公表した。

項目	内容	執行額
公共用水域水質調査	黒瀬川や沼田川等、市内の河川、安芸津海域及び地下水の水質調査を行った。(43 地点)	6,435 千円
大気環境調査測定	市役所等の測定場所で大気中の汚染物質の測定を行った。(13 地点)	4,262 千円
工場排水等水質検査	工場・事業場の特定施設から公共用水域に排出される水の水質について、立入調査・指導を行った(R3 実績:85 事業場)。	1,854 千円
自動車騒音常時監視及び環境騒音調査	自動車騒音の状況を調査し、騒音公害を防止するための基礎資料とした。また、市内の騒音実態、環境基準の達成状況を把握する調査を行った。	3,994 千円
有害汚染物質等継続調査	廃棄物処分場跡地などの経過観察調査や公害発生のおそれのある地点の継続監視調査を行った。(12 地点)	1,573 千円
臭気指数測定調査	調査を必要とする悪臭苦情の発生がなかったため、測定しなかった。	0 千円
その他業務	環境監視に使用する消耗品を購入した。	1,059 千円

【成果・課題】

大気質、自動車騒音および環境騒音は、ほぼ環境基準を達成している。一方で、水質は、黒瀬川水系の一部で環境基準を超過した。これは、人口に対する河川の水量が少ないことが一因だが、引き続き水洗化率の向上や、汚水処理施設の適切な管理を図るため、啓発や監視指導が必要である。

イ 第2次東広島市環境基本計画の策定（うち 5,108 千円）

- ・第1次計画の計画期間終了に伴い、第2次計画を策定した。

ウ 環境審議会の運営（うち 273 千円）

- ・東広島市環境審議会を開催した（開催3回（うち第3回会議は書面審議））

②環境保全意識の向上（1,680 千円）

ア 各種啓発活動の継続

- ・市民の環境保全活動への関心の低さが懸念されるため、各種啓発活動を継続して実施した。
- ・東広島市の環境（環境白書）や環境活動事例集を作成した。
- ・出前講座やひがしひろしまこどもエコ探検隊等の環境学習を実施した。

事業の概要

(出前講座開催回数及び参加人数)

年度	H29	H30	R1	R2	R3
開催回数 (回)	22	6	17	11	13
参加人数 (人)	788	224	644	484	252

事業の概要								
戦略	2	犬・猫の適正な飼養の促進	予算	10,900 千円	決算	9,237 千円		
事務事業	1-1	狂犬病予防事業	予算	10,900 千円	決算	9,237 千円		
内容								
1-1_犬・猫の適正な飼養の促進								
①狂犬病予防の推進 (3,103 千円)								
<ul style="list-style-type: none"> <li>動物病院における狂犬病予防注射の接種、犬の新規登録や手数料の徴収事務の委託</li> <li>市内を巡回しての狂犬病予防注射の実施</li> <li>全登録者への案内通知、広報掲載、未受診者への督促通知</li> </ul>								
(狂犬病予防注射の受診状況) (単位: 件)								
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
登録数	9,024	8,958	8,966	9,144	9,354	9,383		
集合注射	1,879	1,737	1,647	1,564	267	358		
個別注射	4,723	4,946	5,072	5,290	6,552	6,607		
注射合計	6,611	6,683	6,719	6,854	6,819	6,965		
接種率	73.3%	74.6%	74.9%	75.0%	72.9%	74.2%		
<b>【成果・課題】</b>								
<p>集合注射の実施について、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度は3日間のみ開催、令和3年度は秋の開催となったが、前年度比1.3ポイント向上した。</p> <p>課題としては、飼い主に適正飼養を促すための普及啓発を行い、引き続き接種率の向上に努める必要がある。</p>								
②犬・猫など愛護動物の正しい飼い方の推進 (1,798 千円)								
<ul style="list-style-type: none"> <li>動物愛護についての普及・啓発活動</li> <li>広島県、動物愛護ボランティアとの連携によるイベントの開催等</li> </ul>								
(犬猫譲渡会の参加人数) (単位: 人)								
年度	H30		R1		R2		R3	
月	6月	11月	6月	10月	6月	10月	6月	10月
人数	500	450	500	1,800※	中止	1,100	中止	2,000※
※R1. 10月は広島県主催「動物愛護のつどい」、R3. 10月は市主催「環境フェア」と同日開催								
<ul style="list-style-type: none"> <li>譲渡犬猫の不妊去勢手術への補助金交付 (うち 1,148 千円)</li> </ul> <p>東広島市が共催する犬猫譲渡会に参加する動物愛護ボランティア団体に対し、譲渡会にエントリーする犬猫の不妊去勢手術に係る経費の補助を行った。</p>								
(譲渡犬猫不妊去勢手術費補助金交付状況)								
年度	R3							
申請数	12件							
補助額	1,148千円							
犬	2頭							
猫	86頭							

## 事業の概要

### 【成果・課題】

予算上 25,000 円×100 頭分で計上していたが、12 件の申請があり、犬 2 頭、猫 86 頭、計 88 頭の不妊去勢手術が行われた。

令和 3 年度事業開始した制度であり、今後の申請状況を見ながら成果等を検証していく。

### ③野良犬・猫対策（4,336 千円）

#### ア 野良犬対策（うち 4,237 千円）

- ・ 広島県動物愛護センターとの連携による保護活動の実施
- ・ 野良犬保護器の貸出しによる保護・搬送

（保護器設置・搬送等の件数）

（単位：件）

年度	H29	H30	R1	R2	R3
件数	240	174	146	130	118

（R3年度 犬に関する苦情数）

（単位：件）

区分	本庁	黒瀬	豊栄	福富	河内	安芸津	合計
件数	118	73	2	5	7	2	207

#### イ 野良猫対策（うち 99 千円）

- ・ 広島県が推進する地域猫活動についての広報等による周知
- ・ 地域猫活動を実施する地域と県との調整・協議
- ・ 地域猫活動団体への補助金交付（うち 80 千円）

地域猫活動を行う団体等に対し、給餌、給水、排せつ物処理に係る経費の補助を行う。地域猫活動に必要な経費を補助することにより、広島県への団体登録を促した。

※ 不妊去勢手術は広島県の補助制度を活用

（地域猫活動団体申請数）

（単位：件）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計
件数	1	3	7	3	8	4	26

（地域猫活動費補助金交付状況）

年度	R3
申請数	4件
補助額	80千円

### 【成果・課題】

予算上 20,000 円×10 団体分で計上していたが、4 件の申請が行われた。

令和 3 年度事業開始した制度であり、今後の申請状況を見ながら成果等を検証していく。

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 ( 決算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上
施策の将来の目標像	共通の目的の実現や地域課題の解決のため、コミュニティ活動や地域の特性を踏まえた取組みが活発に展開され、多様な市民・団体等が相互に連携・協力しながら活動、活躍することにより、地域の持つ力が向上しています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	地域コミュニティ活動への参加率	67%	75%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	主管部局・所属	地域振興部 地域づくり推進課
関係部局・所属	地域振興部	地域政策課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民協働のまちづくりによる地域力の向上	現状	住民の地域コミュニティ活動の参加率及び住民自治協議会の認知度が低い。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
住民自治協議会等の持続性の強化(担い手・後継者育成、加入促進等)に向けた支援が必要 オンライン会議に向けた環境整備、地区拠点施設の機能向上が必要		住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	高	1
		活動拠点の充実	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 地域コミュニティ活動への参加率	67.0 ( H30 )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	71.0	72.4	73.8	75.0 ( R6 )	%
			68.6	67.3		89.7%	
			96.6%	93.0%			
(1) 住民自治協議会の認知度	65.6 ( R1 )		66.0	67.0	68.0	70.0 ( R6 )	%
			71.7	71.9		102.7%	
			108.6%	107.3%			
(4)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
2年度		625,770		630,487		81,715千円
		388,076		327,749		
3年度		649,162		608,180		
		398,508		341,915		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	2・1・9 市民協働推進事業	地域づくり推進課	6.90	229,717	253,837
				211,207	228,786
1-2	2・1・9 ふるさと寄附金運営事業	地域づくり推進課	0.95	43,407	198,140
				163,821	234,510
2-1	2・1・9 地域活動拠点整備事業	地域づくり推進課	2.44	155,382	57,173
				111,858	52,205
2-2	2・1・9 コミュニティ推進事業	地域づくり推進課	2.66	197,264	140,012
				143,601	92,679
合計			12.95	625,770	649,162
				630,487	608,180

7 R3 事業費の分析 (差額 = 「R3 年度当初予算額」 - 「R3 年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	分析
40,982千円	集会所改修工事の入札残が生じたこと、及び譲渡集会所整備事業補助金が当初の見込みより活用されなかったため。

8 R3 成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
100.1%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域コミュニティ活動への参加率は減少傾向にあるが、住民自治協議会の認知度は着実に向上している。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	住民自治協議会への支援や各種補助金の交付及び地域拠点施設の機能維持・充実に取り組み、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中においても、市民の地域コミュニティ活動の参加率の維持を図るとともに、学生の参画促進を図ることができた。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	令和3年7月から、ふるさと寄附金の返礼品に係る事業者開拓、受注・出荷管理等の業務を(一社)ディスカバー東広島に変更した。同社の取組により、返礼品が令和3年度において209商品増加し、寄附受納額の増加に寄与した。一方で、寄附の金額設定をより細分化することで、寄附の機会を増やすことなどが見込まれる。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、住民自治協議会の定期総会の書面決議への変更や、諸活動が中止されるなどの影響が生じた。

10 総合評価

総合評価	<総評>
B	コロナ禍により地域コミュニティ活動への影響は生じているが、新たな生活様式の普及に向けた取組やZOOMによる遠隔会議の導入支援等により、その影響を低減させることができた。また、新たに結成した学生協働支援隊は、地域おこしのきっかけづくりに積極的に取り組み、派遣地域の活性化に寄与し始めている。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
市民協働のまちづくり指針の策定から12年が経過する中で、住民自治協議会の認知度が向上するなど、制度が定着する一方で、担い手の確保など様々な課題も生じている。 地域センター等施設が老朽化してきており、改修及び施設の適正配置などの課題が生じてきている。	市民協働のまちづくり第4期行動計画の策定に取り組み、現在の諸課題の解消に向けた施策等について検討する。 公共施設の適正配置に係る実施計画に基づき、引き続き施設改修を行う、また、施設の縮充に向けての検討を行う。

## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上

事業の概要			
戦略	1 住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	予算 451,977 千円	決算 463,296 千円
事務事業	1-1 市民協働推進事業	予算 253,837 千円	決算 228,786 千円

### 内容

#### 1-1\_市民協働の推進

##### ①住民自治協議会等の持続可能な活動の支援（186,519 千円）

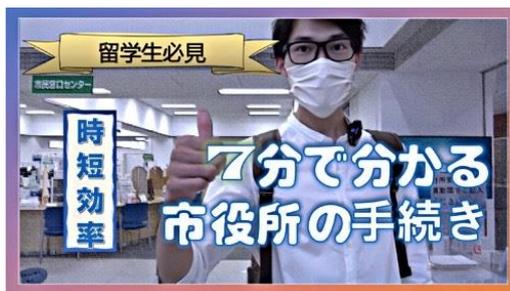
市民協働のまちづくり活動の更なる発展を図るための具体的な施策を推進した。

##### 【拡】 ア 地域づくり推進交付金の交付（うち 168,657 千円）

地域を代表する組織である住民自治協議会が特色あるまちづくりに取り組むことを促進するために、地域づくり推進交付金を交付した。また、地域選択項目に新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて「新たな生活様式普及事業」と、大学生の地域活動への参加促進に向けて「学生交流促進事業」を追加した。

##### イ 市民協働のまちづくり活動応援補助金の交付（うち 8,535 千円）

市民活動団体等が行う地域の課題解決及び魅力向上につながる公益的な活動に対し、補助金を交付することで、市民協働のまちづくりを推進した。



市民協働のまちづくり活動応援補助金 採択事業

##### 【拡】 ウ コミュニティビジネスの創業支援（0 千円）

地域の課題解決や魅力創造に向け、持続可能な形で取り組める事業の立ち上げ支援を目的に補助金を募集したが、コロナ禍の活動停滞もあり応募がなかった。

##### 【拡】 エ 市民協働のまちづくりトーク及び夢トークの開催（うち 982 千円）

48 住民自治協議会の会長と市長・市幹部職員が情報共有を行う「まちづくりトーク」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

市民協働の推進に向けての意見交換会「夢トーク」を 2 圏域で開催し、市と住民自治協議会、住民自治協議会相互の情報共有等を推進した。



夢トークの様子

【新】オ 第五次東広島市総合計画地域別計画の推進に向けた調査等の実施（うち 8,345 千円）

第五次東広島市総合計画地域別計画に掲げる各地域の将来像の実現に向けて、取組みの方向性を踏まえ、9地域ごとに「地域別アクションプログラム」を作成した。市民に身近な施策や事業をプロジェクトマップ形式で見える化することにより、幅広く市民とまちづくりの「取組みの方向性」を共有し、ともにまちづくりを推進する環境を整えた。



地域別アクションプログラム

②担い手の発掘（17,432 千円）

都市地域から協力隊員を過疎地域等に呼び込み、地域の課題解決や魅力創造などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住、定着を図った。

ア 地域おこし協力隊員の配置と活動支援（うち 17,432 千円）

着任中の地域おこし協力隊員 5 名に加え、新たに 1 名を追加配置するとともに、隊員の地域活動を伴走的に支援し、任期を終えた 2 名が市内に定住した。



地域おこし協力隊の活動の様子

イ 定住のための起業等支援（0 千円）

任期を終える隊員が定住し起業する場合に交付する起業等支援補助金について、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた国の特例措置（対象期間延長）を受けて、交付対象者が申請を延期した。

③地域活動団体による住民自治協議会等のサポート、連携の促進(22,242 千円)

まちづくりの多様な担い手の活動を維持し、発展させていくため、地域活動団体による住民自治協議会等のサポートや連携を促進した。

ア 市民協働センターの管理運営（うち 7,955 千円）

「市民と市民」、「市民と行政」の協働の拠点として、市民活動や担い手の交流・ネットワーク作りを支援し、市民協働のまちづくりを推進した。

イ 市民協働のまちづくりを推進する人材の配置（うち 6,015 千円）

市民協働センター専門員及び協働支援員を配置し、住民自治協議会や市民活動団体の活動の支援や連携のコーディネート等を支援した。

【新】ウ 広島大学の学生を対象とした「まちづくり実践講座」の開講（うち 718 千円）

広島大学と連携し、広島大学の 1～2 年生を対象に、座学とフィールドワークによる集中講座（授業）を開講し、まちづくりの実践に興味を持つ学生を養成するとともに、地域を身近に感じ、本市へ愛着を持つ機会を提供した。



まちづくり実践講座（座学）の様子



まちづくり実践講座（フィールドワーク）の様子

【新】エ 「学生協働支援隊」による地域おこしのきっかけづくり（うち 7,554 千円）

住民自治協議会のまちづくりに学生の力を活かすためのモデル事業として、学生協働支援隊を結成し、地域おこしのきっかけづくりに取り組んだことにより、地域での新しい活動の展開等が図られた。



学生協働支援隊の活動（豊栄町安宿地区）



学生協働支援隊の活動（八本松町吉川地区）

【拡】④市民活動情報の共有の促進(1,694 千円)

まちづくりの多様な担い手による活動の情報発信や情報共有を支援し、地域でのつながりや愛着を持つきっかけづくりを推進した。

ア 市民活動情報サイトの運営(うち 1,694 千円)

市民活動に係る情報サイトの機能を強化し、引き続き運営することで、市民活動団体等の情報の発信・共有を促進した。



事業の概要			
戦略	1	住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	予算 451,977 千円 決算 463,296 千円
事務事業	1-2	ふるさと寄附金運営事業	予算 198,140 千円 決算 234,510 千円
内容			
1-2_ふるさと寄附金制度の活用			
【拡】①ふるさと寄附金の運営（234,510 千円）			
地域活動の財源確保のため、ふるさと寄附金制度の活用を図った。			
ア 専門サイトの活用及び返礼品の拡充(うち 234,510 千円)			
ふるさと寄附金運営サイトに、新たに「ANAふるさと納税」を追加するとともに、返礼品の拡充やクラウドファンディングの活用を通して、財源確保や本市特産品のPR、魅力の発信等を図った。			
 <p>蔵元直送 東広島日本酒10歳定期便</p>			
東広島市ふるさと寄附金に係る返礼品（一例）			

事業の概要			
戦略	2	活動拠点の充実	予算 197,185 千円 決算 135,732 千円
事務事業	2-1	地域活動拠点整備事業	予算 57,173 千円 決算 52,205 千円
内容			
2-1_地域活動拠点の整備			
<p>市民協働のまちづくりを推進するため、地域センター等を住民自治協議会及び生涯学習の活動拠点として整備・充実させるとともに、大規模改修により長寿命化を図った。</p> <p>①地域センター改修（35,487 千円）</p> <p>ア 小谷地域センター大規模改修設計（うち 4,775 千円）</p> <p>「地域センター整備方針」及び平成 27・28 年度に管財課が実施した簡易劣化診断の結果等をもとに策定した地域センター改修計画において改修の優先度が高い小谷地域センターについて、長寿命化のための大規模改修設計（屋根改修（陸屋根部防水改修等）、外壁改修、建具シール打替え、トイレ改修、空調改修、照明 LED 化、駐車場区画線工）を行った。</p>			
			
<p>イ 西条地区地域センター照明改修設計（うち 2,924 千円）</p> <p>老朽化した地域センターの照明を計画的に LED に更新し、センターの環境を改善することにより、利用者の利便性を図るため、改修設計を行った。</p> <p>【実施施設】 寺西地域センター、板城地域センター 三永地域センター、東西条地域センター</p> <p>ウ 造賀地域センター駐車場整備工事（うち 11,324 千円）</p> <p>一部未舗装である造賀地域センターの駐車場舗装を実施したことにより、センター環境の改善が図られ、利用者の利便性が向上した。</p>			
			

## 事業の概要

### エ 三永地域センター駐車場整備に係る用地取得（うち 870 千円）

（R4年度へ繰越 1,129 千円）

センター前面道路の拡幅工事に合わせて、駐車場不足を補うため用地取得を行った。（一部繰越あり）



### オ 宇山地域センターホール備品整備（うち 462 千円）

令和 2 年度に建設したホールへ備品整備及び旧大ホールにある備品の移転を行ったことにより、利便性が向上した。



### カ 河戸地域センター解体設計（うち 1,279 千円）

令和 3 年 4 月に河戸地域センターを旧河内西小学校に移転したことから、老朽化した旧センターの解体設計を行った。



### キ 高屋西地域センター複合施設整備事業の補償調査等（うち 13,721 千円）

（うちR2年度から繰越分 9,152 千円）

公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化している高屋西地域センターを複合化し、新たな地域活動の拠点として移転新設することに伴い、地権者と交渉を行う上で、条件提示のため必要となる、補償調査・用地鑑定・測量を行った。

## 事業の概要

### ク 寺西地域センターアスベスト含有分析業務(うち 132 千円)

令和4年度に寺西地域センターの屋根修繕設計を行うため、アスベスト調査を行った。

### 【新】②地区拠点施設の機能向上 (15,558 千円)

施設の機能又は規模に課題のある地区拠点施設については、学校施設等の既存施設を有効活用することで、機能向上を図った。

#### ア 西志和地域センターの開設(特別教室棟の改修設計) (0 円)

(R4年度へ繰越 4,000 千円)

令和4年4月に西志和コミュニティハウスを西志和地域センターに転換したが、機能が不足しているため、令和4年3月末で閉校となった西志和小学校特別教室棟を改修し、調理室・研修室等を設置するための改修設計を行った。



#### イ 上黒瀬地区の活動拠点の整備(改修設計) (うち 9,966 千円)

上黒瀬住民自治協議会の活動の場を確保し、小学校との連携を強化するため、上黒瀬小学校校舎の一部をホールに改修するための設計及び一部工事を行った。



## 事業の概要

### ウ 三津地区拠点施設の活動拠点の整備（うち 5,592 千円）

三津自治協議会の活動の場を確保し、小学校との連携を強化するため、水道局敷地内にある旧広島県農業共済組合安芸津出張所であった施設を取得し整備を行ったことから、自治協の活動拠点として、さらなる自治協活動の推進が図られた。



### 【新】③地域センター等への ICT 設備整備（1,160 千円）

#### ア 活動拠点施設への Wi-Fi 環境の整備（うち 1,160 千円）

ICT を活用した地域活動の利便性及び自治協間のネットワーク向上を目的として、活動拠点施設の Wi-Fi 環境の整備を行ったことにより、Wi-Fi 接続の安定性が向上した。

【整備機器】 Wi-Fi ルーター

タブレットーテレビ接続ケーブル

事業の概要																		
戦略	2 活動拠点の充実	予算 197,185 千円	決算 135,732 千円															
事務事業	2-2 コミュニティ推進事業	予算 140,012 千円	決算 92,679 千円															
内容																		
2-2_コミュニティ活動の推進																		
<p>住民主体によるコミュニティ活動を支援するため、その活動拠点となる集会施設の整備や集会施設を管理する自治会、住民自治協議会、住民組織等に対して、整備に関連する補助等を行うことにより、地域におけるコミュニティづくりを推進した。</p>																		
①市有集会施設等の整備及び維持管理(37,322 千円)																		
<p>政策的に市が設立し、継続して保有する集会所の改修及び施設の修繕、維持管理等を行ったことにより、長寿命化が図られた。</p>																		
【令和3年度事業（主なもの）】																		
○上三永公会堂改修工事		○みずとり集会所改修工事																
(13,948 千円)		(14,149 千円)																
																		
②集会施設整備費の補助（51,457 千円）																		
<p>ア 住民組織自らが行う集会施設の整備（新築・改築・修繕等）に対する補助金を交付したことにより、施設の更新や利用者の利便性が向上した。</p>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新築</td> <td>1</td> <td>6,500 千円</td> </tr> <tr> <td>改築</td> <td>3</td> <td>4,473 千円</td> </tr> <tr> <td>修繕</td> <td>17</td> <td>4,445 千円</td> </tr> <tr> <td>備品</td> <td>1</td> <td>9 千円</td> </tr> </tbody> </table>				補助対象	件数	金額	新築	1	6,500 千円	改築	3	4,473 千円	修繕	17	4,445 千円	備品	1	9 千円
補助対象	件数	金額																
新築	1	6,500 千円																
改築	3	4,473 千円																
修繕	17	4,445 千円																
備品	1	9 千円																

## 事業の概要

イ 集会施設の適正配置を進めるための譲渡集会施設の整備(改築・修繕等)に対する補助金を交付したことにより、施設の更新や利用者の利便性が向上した。

補助対象	件数	金額
改築	6	17,867 千円
修繕	10	9,484 千円
解体	1	1,650 千円
下水道接続	2	6,434 千円
登記	8	595 千円

### ③一般コミュニティ助成事業 (3,900 千円)

(財) 自治総合センターが宝くじの普及・広報の一環として実施している一般コミュニティ助成事業を活用して、住民自治協議会に対し、地域のイベントや日常の活動に必要な資器材・備品等の購入費を助成したことにより、コミュニティ活動が促進された。(実績：2団体)

### ④地縁団体の設立支援及び認可

集会所等の不動産を所有することとなる自治会等に対し、地縁団体の設立支援及び申請に基づく地縁団体の認可を行った。



令和 3 年度 目的別事業群総括管理 ( 決算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	6 多文化共生と国際化の推進
施策の将来の目標像	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現しています。		
施策の数値目標	指標	現状値 ( R 1 年度 )	目標値 ( R 6 年度 )
	「東広島市での暮らし」に満足している外国人市民の割合	84.7%	90.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 言語・文化等の違いによらない円滑な暮らしの実現	主管部局・所属	生活環境部 市民生活課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生社会の実現	現状	外国人：必要な情報入手できない等により、生活に困り事がある人がいる 日本人：外国人市民が多く暮らすことに不安を感じている人がいる	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
情報提供の充実や多言語対応、相談対応など外国人市民の生活支援	外国人市民の生活環境の充実		高	1
地域住民や同国出身者とのつながりの希薄さや、外国人市民の活躍の場の不足	外国人も共に活躍できる環境づくり		低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 外国人新規転入世帯 に対する生活オリエン テーション実施率	33.0 ( H30 )		39.0	42.0	45.0	51.0 ( R6 )	%
			40.7	91.8		180.0%	
			104.4%	218.6%			
(4)	( )	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率				( )	
(4)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 2 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
			34,673		33,929	12,809千円
			11,977		9,438	
	R 3 年度		29,870		28,235	
			6,696		5,325	

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	2・1・7 外国人市民受入体制等整備事業	市民生活課	1.23	26,011	22,307
				24,107	21,005
1-2	2・1・7 コミュニケーション支援事業	市民生活課	0.30	6,815	7,041
				8,090	7,032
1-3	2・1・7 国際化推進プラン推進事業	市民生活課	0.20	1,847	306
				1,732	0
2-1	2・1・7 外国人市民地域参画促進事業	市民生活課	0.30	0	216
				0	198
合計			2.03	34,673	29,870
				33,929	28,235

7 R3事業費の分析(差額=「R3年度当初予算額」-「R3年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	1,635千円	分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の縮小やコミュニケーションコーナーの開設時間を短縮し、夜間事務委託費等が減少したため。
----	---------	----	--

8 R3成果指標の分析(成果指標の平均達成率)

平均達成率	218.6%	分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、新規転入の外国人数は大幅に減少したが、生活オリエンテーションの実施を徹底したことで目標値を上回る結果となった。
-------	--------	----	--

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対面式での事業実施等が制限される中、日本語教室でのオンライン活用等により、外国人市民の生活環境の充実を図ることができた。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、事業委託や関係団体、ボランティア等との連携により効率的に実施できた。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	新型コロナウイルス感染症の影響で外国人の入国制限等があり、新規転入が大幅に減少するとともに、対面式で実施する事業の開催が一部中止となった。

10 総合評価

総合評価	A	<総評>
		コロナ禍で新規外国人の転入者数が減少したものの、転入者へ生活オリエンテーションの実施を徹底したことで目標値を達成することができた。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
<p>情報提供方法の工夫や多言語対応、相談対応など外国人市民の生活支援を継続的に実施する必要がある。 また、地域住民や同国出身者とのつながりの希薄さや、外国人市民の活躍の場が十分でない。</p>	<p>引き続き、生活に必要な情報の多言語対応や相談窓口の充実、地域参画の促進やコミュニティ形成に向けた取組みを進めることにより、多文化共生社会の実現を図る。</p>

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	6 多文化共生と国際化の推進	① 言語・文化等の違いによらない円滑な暮らしの実現

事業の概要					
戦略	1 外国人市民の生活環境の充実	予算	29,654 千円	決算	28,037 千円
事務事業	1-1 外国人市民受入体制等整備事業	予算	22,307 千円	決算	21,005 千円

内容

1-1\_外国人市民の受入体制等の整備

外国人市民が個性と能力を発揮し、安心して快適に暮らすことができるようにするために、受入体制等を整えた。

①相談体制の充実（12,522 千円）

ア 外国人コミュニケーションコーナーの運営(サンスクエア東広島内)

(うち 12,522 千円)

コミュニケーションコーナーを開設し、多言語で生活相談に応じるほか、生活支援やイベント等各種情報を提供した。

(ア)多言語による相談窓口の開設(英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語)

(うち 12,486 千円)

開設日・ 対応言語	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日		日曜日	
	午前	午後												
英語	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○
中国語			○					○	○			○	○	
ポルトガル語					○		○				○			
ベトナム語														○

(イ)多言語による無料法律相談の実施(毎月 1 回 5 件実施) (うち 36 千円)

(ウ)海外の情報誌や書籍を閲覧できる情報コーナーの開設 (うち 0 千円)

【拡】(エ)対象者の特性に応じたツールを活用した情報発信 (うち 0 千円)

これまでの facebook や HP 等による情報発信に加え、新たに LINE、WeChat を活用し、外国人市民に必要な生活関連情報やイベント情報等を発信した。

・多言語広報メール配信 16 回、facebook 毎日、LINE、WeChat 週 1 回程度



(多言語による相談窓口)



(情報コーナー)

## 事業の概要

### ②情報提供の充実（4,937 千円）

#### ア 生活オリエンテーションの実施（うち 21 千円）

新規転入の外国人へ必要な各種行政サービスや生活習慣、ルール等を説明するオリエンテーションを実施し、円滑な生活のスタートを支援した。

(ア)転入手続き等来庁時のオリエンテーション(庁内窓口で随時実施)

(イ)留学シーズンにおける大学への出張オリエンテーション

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、入国する留学生等が少なかったため、大学へ資料のみ提供した。

(ウ)事業所等への出張オリエンテーション(希望により随時実施)

- ・希望する事業所等へ資料のみ提供した。

#### イ 相談機能の充実・行政資料等の多言語化の推進（うち 4,594 千円）

行政国際化推進員の配置による窓口通訳、行政資料等の多言語化を推進した。(通年 1 名)

#### ウ 各種行政窓口等における多言語対応の充実（うち 322 千円）

自動翻訳ツールの配備により多言語対応の充実を図った。(15 台配備)

(iPad 配備所属)管財課、市民税課、収納課、国保年金課(2)、こども家庭課、保育課(2)、学事課、指導課(2)、市民生活課(2)(ポケットク配備所属)市民課(2)



(庁内での生活オリエンテーション)



(生活オリエンテーションセット)

事業の概要						
戦略	1	外国人市民の生活環境の充実	予算	29,654 千円	決算	28,037 千円
事務事業	1-2	コミュニケーション支援事業	予算	7,041 千円	決算	7,032 千円
内容						
1-2_コミュニケーション支援						
①日本語教室等の開催 (7,009 千円)						
【拡】ア にほんごきょうしつ東広島 I・II・III(各週 2 回)、漢字(週 1 回) (うち 4,890 千円)						
日本語教師がレベルに応じて授業を実施する教室型の日本語教室を実施した。また、新たにオンライン配信等による教室も実施し、受講者の利便性の向上を図った。						
イ にほんごわいわい(週 1 回・西条 2 クラス、八本松・黒瀬・安芸津各 1 クラス) (うち 900 千円)						
ボランティアとの会話をとおして、日本語習得を支援する交流型の日本語教室を実施した。						
ウ One-to-Oneにほんご (うち 0 千円)						
ボランティアと外国人市民が 1 対 1 で日本語での会話をとおして、外国人の日本語習熟度を高めるとともに、相互の国際理解を深めた。						
エ にほんごひろばU-18(小学 1~4 年生向け週 2 回・小学 5、6 年生及び中高生向け週 2 回) (うち 1,219 千円)						
外国人児童生徒を対象に、日本語学習や教科学習の支援及び居場所づくりに取り組んだ。						
						
(にほんごきょうしつ東広島)			(にほんごわいわい)			
②「やさしい日本語」の普及促進 (23 千円)						
ア 市職員への「やさしい日本語」研修の実施(1 回実施) (うち 23 千円)						
窓口等での外国人市民とのコミュニケーションを円滑にするため、市職員を対象に、外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」の普及に向けた研修を実施した。						

事業の概要				
戦略	1	外国人市民の生活環境の充実	予算 29,654 千円	決算 28,037 千円
事務事業	1-3	国際化推進プラン推進事業	予算 306 千円	決算 0 千円
内容				
<p>1-3_国際化推進プランの推進</p> <p>審議会開催により、第3次国際化推進プランの取組に対する実施状況の検証を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により書面審査とした。</p>				

事業の概要				
戦略	2	外国人も共に活躍できる環境づくり	予算 216 千円	決算 198 千円
事務事業	2-1	外国人市民地域参画促進事業	予算 216 千円	決算 198 千円
内容				
<p>2-1_外国人市民の地域参画の促進</p> <p>外国人市民が地域とつながることにより、安心して生活し、地域社会で活躍できるよう支援等を行った。</p> <p>①地域活動への参加促進（100 千円）</p> <p>【拡】ア 外国人市民が地域活動に参加する機会の創出（うち 100 千円）</p> <p>関係機関や国際交流ボランティアと連携し、龍王自治協議会での外国人市民との交流イベントを支援した。</p> <p>②市民への意識啓発（98 千円）</p> <p>ア 外国人市民への啓発（うち 0 千円）</p> <p>各地域の自治会や地域行事等を紹介する外国人市民向け啓発資料を作成するとともに、SNS等で情報を発信した。</p> <p>イ 日本人市民への意識啓発（うち 98 千円）</p> <p>(ア)地域における外国人市民の状況等を紹介する啓発資料の作成及び提供（うち 0 千円）</p> <p>外国人市民との関わり状況に関するアンケート調査時に、住民自治協議会の地域に住む外国人市民の状況資料（国籍、人数等）を提供した。</p> <p>(イ)外国人集住地域等への「やさしい日本語」講座の実施（うち 98 千円）</p> <p>防災をテーマにしたやさしい日本語講座を 1 回実施した（寺西地区）。</p>				

令和 3 年度 目的別事業群総括管理 ( 決算 ) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	6 多文化共生と国際化の推進
施策の将来の目標像	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現しています。		
施策の数値目標	指標	現状値 ( R 1 年度 )	目標値 ( R 6 年度 )
	「東広島市での暮らし」に満足している外国人市民の割合	84.7%	90.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 国際交流と相互理解の促進	主管部局・所属	生活環境部 市民生活課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	友好都市・親善都市等との都市間交流や、地域に暮らす日本人・外国人市民の交流機会の創出により、市民の国際感覚の醸成と異文化理解の促進を図る	現状	外国人: 交流したいと思っているが交流できていない人がある、地域住民との交流がなく地域に溶け込めていない人がある 日本人: 外国人市民が多く暮らすことに不安を感じている人がある	
課題	誰もが参加しやすい交流機会が少なく異文化理解が十分でない	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
		交流による異文化理解の促進	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 多文化共生事業参加者数	3,027 ( H30 )		3,200	3,300	3,400	3,600 ( R6 )	人
			1,123	658		18.3%	
			35.1%	19.9%			
(4)	( )	上段: 目標値 中段: 実績値 下段: 達成率				( )	
(5)	( )					( )	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
2 年度			12,739		3,449	5,048千円
			3,684		582	
3 年度			8,948		6,671	5,048千円
			1,725		6	



## 概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	6 多文化共生と国際化の推進	② 国際交流と相互理解の促進

事業の概要					
戦略	1 交流による異文化理解の促進	予算	8,948 千円	決算	6,671 千円
事務事業	1-1 国際交流推進事業	予算	7,656 千円	決算	6,665 千円
内容					
<p><b>1-1_国際交流の推進</b></p> <p>外国人市民と日本人市民が相互理解のもと、共に市民として暮らす多文化共生のまちづくりを実現するために、多様な市民の交流を推進し、国際感覚の醸成と相互理解を深めた。</p> <p>①交流機会の創出と活動の支援（6,245 千円）</p> <p style="text-align: right;">※HIC=(公財)ひろしま国際センター</p> <p>ア 誰もが参加しやすい交流機会の創出（うち 6,038 千円）</p> <p><b>【拡】(ア)国際化推進協議会による交流事業(東広島国際フェスタ等)(うち 4,420 千円)</b> 交流団体、学生、企業等様々な個人・団体と連携し、誰もが参加しやすい国際交流イベントを開催した。</p> <p><b>【拡】(イ)HICと連携した多文化共生事業(子ども英語村、東広島バスツアー、子育て交流会等)（うち 1,618 千円）</b> 新たに、周辺地域における交流機会の創出として、生涯学習センター等と連携して防災教室等を 2 回開催した。</p> <p><b>【新】イ 新たなつながり作りのための交流機会の創出（うち 207 千円）</b> 広島大学に新設された国際交流拠点（ミライクリエ）を活用し、外国人市民の国別コミュニティの形成や市民との交流を目的とした交流事業を 3 回開催した（アセアン地域、アフリカ地域、ラテンアメリカ地域）。</p> <p>ウ 交流団体が実施する事業の情報発信等の支援（うち 0 千円） 広報紙や国際化推進協議会 facebook 等での PR 等を随時行った。</p>					
					
<p style="text-align: center;">（ミライクリエでの交流）</p>		<p style="text-align: center;">（東広島国際フェスタ）</p>			
<p>②意識啓発、異文化理解の促進（251 千円）</p> <p>ア 外国人市民への意識啓発、異文化理解の促進（うち 0 千円）</p> <p>(ア)国際化推進協議会による交流事業(七夕茶会、新年交流会等) 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した。</p>					

事業の概要

- イ 日本人市民への意識啓発、異文化理解の促進（うち 251 千円）
  - (ア)HICと連携した多文化共生事業(やさしい日本語講座)（うち 202 千円）
 

「やさしい日本語」講座は大学生や保育士等を対象に 2 回実施した。
  - (イ)徳陽市紹介事業補助（うち 49 千円）
 

東広島市日中親善協会の徳陽市紹介事業に対して財政的に支援した。
- ③交流を支える団体への支援及び人材の育成（169 千円）
  - ア 国際交流関係団体への支援（うち 70 千円）
 

5 団体に対して会費を納入し、国際交流活動を財政的に支援した。
  - イ 国際交流ボランティアの登録促進及び研修会の実施 2 回実施（うち 99 千円）

団 体 名
東広島市国際化推進協議会
東広島市日中親善協会
東広島市日韓親善協会
広島ベトナム平和友好協会
広島アセアン協会

(主な関係交流団体)



(国際交流ボランティア研修会)

事業の概要

戦略	1	交流による異文化理解の促進	予算	8,948 千円	決算	6,671 千円
事務事業	1-2	都市間交流推進事業	予算	1,292 千円	決算	6 千円

内容

1-2\_都市間交流の推進

友好都市等との訪問団の受入れ及び派遣を行い、行政・教育分野を中心とした交流を推進し友好増進を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外との往来が困難となったため中止とした。

①中国徳陽市からの定期訪問団の受入れ（0 千円）

徳陽市から定期訪問団の受入は中止となったが、四川省友好都市記念館の開館にあわせて、市長動画メッセージを送付した。

## 令和3年度 分野別基盤事業（決算）シート

まちづくり大綱

2 暮らしづくり

### 内容

#### <地域振興部>

##### (1)地域センター等の管理運営（296,992 千円）【2款1項9目】

###### ①地域センター及び地区拠点施設の維持管理(うち 62,827 千円)

市内 35 地域センター(うち直営は 6 施設)及び 13 地区拠点施設の維持管理を行った。

###### ②地域センター職員の配置(うち 34,510 千円)

地域センターの管理運営、住民自治協議会事務の補助及び生涯学習活動を行う職員(センター長、事務職員、事務補助員)を配置した。

###### ③地域センターの指定管理(うち 199,655 千円)

地域センターでの活動を地域の状況に応じた運営により活発なものとするため、地域センターに指定管理者制度を導入し、より地域実態に応じた運営ができるよう推進した。(令和3年度導入数：29 施設)

#### <生活環境部>

##### (1)生業資金等債権の管理（76 千円）【3款1項6目】

###### ①債権の回収・管理

生業資金等貸付金の債務者(連帯保証人、相続人含む。)に対して、電話等での納付指導を行うとともに、訪問や口座振替等による債権回収及び債権管理を行った。

##### (2)人権センターの管理運営（32,159 千円）【3款1項6目】

###### ①人権センターの管理運営(うち 30,731 千円)

市民の福祉向上や人権啓発の推進の拠点となる市内 4 人権センターの維持管理を行った。

###### ②交流促進講座等の開催(うち 1,428 千円)

市民相互の交流の促進を図り、すべての人の人権が尊重される地域社会の実現に資するため、地域ニーズに即した各種教養・文化活動の講座等を開催した。

令和3年度実績：31 講座、3,719 人参加

##### (3)斎場の適切な管理運営（140,721 千円）【4款1項4目】

###### ①斎場(5 か所)の管理運営、火葬業務

高齢化の進展に伴い利用の増加が見込まれるため、斎場 5 か所(ひがしひろしま聖苑、黒瀬斎場、豊浄苑、河内斎場、安芸津斎場)の維持管理等を行った。

・ひがしひろしま聖苑火葬炉耐火物積替工事 20,460 千円 等

##### (4)市営墓地(ひがしひろしま墓園を除く)の貸付、維持管理（843 千円）【4款1項4目】

###### ①市営墓地(5 か所)の管理運営

ひがしひろしま墓園を除く旧町から引き継いだ墓園 5 か所(金口墓園、陰地墓園、中屋谷第 1 墓園、中屋谷第 2 墓園、下河内墓園)の維持管理等を行った。

## 内容

### (5)特定地域生活排水処理事業特別会計への繰出金（2,870 千円）【4款1項4目】

#### ①特定地域生活排水処理施設の管理運営費への繰出金

市（旧河内町）が設置した小型浄化槽を適切に維持管理するため、使用料収入では賄えない部分に対し、一般会計から繰出しを行った。

### (6)生活衛生事業の推進（145 千円）【4款1項4目】

#### ①生活衛生関係営業施設等に関する事務

生活衛生営業六法関係施設、墓地、専用水道や簡易専用水道、特定建築物や化製場等に関する手続き等の事務を行うとともに、各施設への立入監視指導や報告聴取によって、適切な衛生管理が行われるよう指導を行った。

### (7)清掃管理（440 千円）【4款2項1目】

#### ①廃棄物の処理及び清掃に係る諸事務

廃棄物の処理及び清掃に係る許認可等事務、関係機関等との連絡調整等を行った。

### (8)広島中央環境衛生組合への負担金（1,802,979 千円）【4款2項1目】

#### ①広島中央環境衛生組合の運営等経費への負担金

本市、竹原市及び大崎上島町の2市1町が一般廃棄物の広域処理を行うために設置した、広島中央環境衛生組合の運営費等を負担した。



広島中央エコパーク

### (9)ひがしひろしま墓園の貸付、維持管理（6,497 千円）【1款1項1目】

（ひがしひろしま墓園管理事業特別会計）

#### ①ひがしひろしま墓園の管理運営

ひがしひろしま墓園の維持管理等を行った。

## <建設部>

### (1)地籍調査事業（6,654 千円）【6款1項5目】

#### ①地籍調査の実施(うち 6,193 千円)

地籍の明確化を図るため、国土調査法等の関係法令に基づき、安芸津町木谷の一部（0.06 km<sup>2</sup>）において、一筆地調査及び一筆測量等を実施した。

#### ②地籍調査成果の管理(うち 461 千円)

本庁、支所及び出張所で保管する成果物について、引き続き適切な取扱いに努める

## 内容

とともに、成果の誤り等が判明した場合に迅速な対応を図るなど、一層の適正管理を推進した。

### (2)農林道の管理（1,295 千円）【6款1項6目】

農業用施設の管理及び各種台帳整理。

#### ①農道・林道の台帳の更新業務(うち 1,288 千円)

引継された農道等の台帳整理及び更新する業務を行った。

#### ②その他事務費(うち 7 千円)

### (3)駐車場の管理・運営（167,211 千円）【8款2項1目】

#### ①施設の管理運営(うち 82,854 千円)

市内の無料自転車駐車場（20 施設）の清掃、管理及び有料自転車駐車場（5 施設）・有料駐車場（9 施設）の管理を行った。

#### ②自転車駐車場及び駐車場の修繕(うち 9,044 千円)

各駐車場施設の修繕を行った。

#### ③放置自転車の撤去保管(うち 7,390 千円)

市内の放置禁止区域内の放置自転車及び自転車駐車場内の長期放置自転車等の撤去や保管及び返還を行った。

#### ④自転車駐車場及び駐車場施設の使用料(うち 61,184 千円)

西条岡町駐車場リース料

#### ⑤自転車駐車場敷地の借地料(うち 3,396 千円)

西条、白市、西高屋各駅前自転車駐車場（4 施設）の借地料

#### ⑥施設の長寿命化(うち 6,960 千円)

西条駅前第 1 自転車駐車場の改修

平成 30 年 7 月豪雨災害以降、計画に遅れがあること、及び利用者への影響を考慮し、計画を見直し、計画の遅れを取り戻すため、設計を行った。

	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6
当初計画	設計①(済)	工事①	設計②	工事②	設計③	工事③	
現状				工事①	設計②	工事②	設計③
見直し				設計②、③	工事①、②	工事③	

#### ⑦その他事務(うち 13 千円)

### (4)土木施設の管理（40,180 千円）【8款2項1目】

公共土木施設等各施設の維持管理や道路・河川等の各種施設の台帳管理。

許認可等事務を執行するのに必要な経費。

#### ①道路・河川管理に係るデータ更新等業務(うち 11,032 千円)

道路河川システム入力データ作成、認定道路の台帳整理及び更新する業務を行った。

## 内容

引継路線数の増に伴う委託費の増額

道路路線数：4,540 路線（R2.3 時点）

②駅前広場等施設の維持管理業務(うち 27,273 千円)

八本松駅等の駅施設及び駅前広場（10 か所）、公衆トイレ（5 か所）、及び吉行横断地下道を維持管理するために必要な業務を行った。

③施設修繕(うち 1,296 千円)

公衆トイレ及び駅前広場等の施設を適切に維持するために必要な修繕を行った。

④団地内生活道路市道編入測量費補助(うち 0 千円)

法規制前造成団地内道路の市道編入に必要な測量費等経費に対する補助を行うよう予算措置を講じたが、今年度は申請が無かった。

⑤その他事務(うち 579 千円)

(5)電源立地地域の対策（21 千円）【8款2項2目】

棕梨川水力発電所設置による減水区間地域の環境激変緩和のための対策を行った。

①道路修繕に係る工事(うち 0 千円)

入札不調により道路側溝整備工事を実施できなかった。

②その他経費(うち 21 千円)

負担金等経費

### <都市部>

(1)安全・安心な憩いの場となる公園の維持（490,706 千円）【8款5項4目】

安全・安心な憩いの場となる公園を維持するため、施設の管理や修繕および更新を行った。

① 東広島運動公園、憩いの森公園の指定管理(うち 230,094 千円)

② 樹木育成管理(うち 77,152 千円)

③ 清掃等管理(うち 138,123 千円)

④ 施設の修繕・更新(うち 45,337 千円)

(2)市営住宅等の管理・運営（101,920 千円）【8款6項1目】

①施設の維持修繕(うち 79,653 千円)

指定管理者制度を活用し、市営住宅の維持修繕を行う。

②市営住宅に係る経常経費(うち 14,408 千円)

市営住宅の土地賃借料及び光熱水費等

③住宅使用料等の滞納整理(うち 470 千円)

滞納家賃の督促及び臨戸訪問等により滞納整理を行う。

④入居者情報管理(うち 5,313 千円)

住宅システムの保守等に係る経費。

⑤その他事務(うち 2,076 千円)

市営住宅管理の必要経費（消耗品費、役務費等）

